

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

<第29週>

手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向



注目すべき感染症

<今週は該当記事はありません>



病原体情報
P.6-10

手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年／ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年／インフルエンザウイルス 2009/10シーズン



速報
P.11-19

腸管出血性大腸菌感染症 2009年



海外感染症情報
P.20-21

鳥インフルエンザ エジプトにおける状況／パンデミックインフルエンザ(H1N1) 2009



感染症の話
P.22

<今週はお休みです>



読者のコーナー
<今週は該当記事はありません>



グラフ総覧(29週)
P.23-28



29週のデータ
P.29-41



発生動向総覧

<第29週コメント> 7月28日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核245例

3類感染症

細菌性赤痢2例

菌種: *S. flexneri* (B群) 1例__感染地域: 福島県

菌種: *S. sonnei* (D群) 1例__感染地域: 香川県

腸管出血性大腸菌感染症97例(有症者66例、うちHUS 2例、死亡1例)

感染地域: 国内97例

国内の多い感染地域: 兵庫県8例、山形県7例、東京都7例、大阪府6例、福岡県6例、神奈川県4例、愛知県4例、宮城県3例、熊本県3例、鹿児島県3例、北海道2例、栃木県2例、群馬県2例、埼玉県2例、新潟県2例、石川県2例、三重県2例、京都府2例、広島県2例、山口県2例、佐賀県2例、長崎県2例

年齢群: 1歳(4例)、2歳(5例)、3歳(5例)、4歳(2例)、5歳(2例)、6歳(6例)、7歳(2例)、9歳(2例)、10代(11例)、20代(12例)、30代(13例)、40代(10例)、50代(12例)、60代(5例)、70代(3例)、80代(3例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(38例)、O157 VT2(21例)、O26 VT1(15例)、O157 VT不明(5例)、O121 VT2(3例)、O111 VT1・VT2(2例)、O157 VT1(2例)、O55 VT1(1例)、O103 VT1(1例)、O145 VT2(1例)、O146 VT1(1例)、その他・不明(7例)

累積報告数: 1,562例(有症者989例、うちHUS 34例、死亡2例)

感染地域: インド

腸チフス1例

4類感染症

A型肝炎4例

感染地域: 茨城県1例、埼玉県1例、山梨県1例、広島県1例

デング熱4例

感染地域: インドネシア2例、タイ1例、カンボジア1例

日本紅斑熱2例

感染地域: 千葉県1例、熊本県1例

マラリア2例

熱帯熱1例__感染地域: ケニア

原虫種不明1例__感染地域: インド/バングラデシュ

レジオネラ症27例(肺炎型27例)

感染地域: 埼玉県3例(うち温泉1例)、群馬県2例、千葉県2例、富山県2例、静岡県2例、大阪府2例、宮城県1例、山形県1例(温泉)、福島県1例、茨城県1例、東京都1例、新潟県1例、長野県1例、兵庫県1例、広島県1例、山口県1例、福岡県1例(温泉)、国内(都道府県不明)3例
年齢群: 30代(1例)、40代(1例)、50代(6例)、60代(13例)、70代(3例)、80代(3例)

5類感染症

アメーバ赤痢4例(腸管アメーバ症3例、腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 福島県1例、埼玉県1例、東京都1例、兵庫県1例
感染経路: 性的接触1例(同性間)、その他・不明3例

ウイルス性肝炎1例 B型__感染経路: 性的接触(異性間)

急性脳炎2例 病原体不明2例__年齢群: 3歳(1例)、4歳(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病1例

遺伝性プリオン病ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

年齢群: 70代(死亡)

後天性免疫不全症候群14例(AIDS 6例、無症候7例、その他1例)

感染地域: 国内8例、タイ1例、国内・国外不明5例
感染経路: 性的接触9例(異性間2例、同性間7例)、不明5例

ジアルジア症1例 感染地域: ハイチ

梅毒6例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、晩期顕症1例、無症候2例)

破傷風1例 年齢群: 70代

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

遺伝子型: *VanC* 2例__菌検出検体: 血液2例

麻しん5例〔麻しん(臨床診断例1例)、修飾麻しん(検査診断例4例)〕

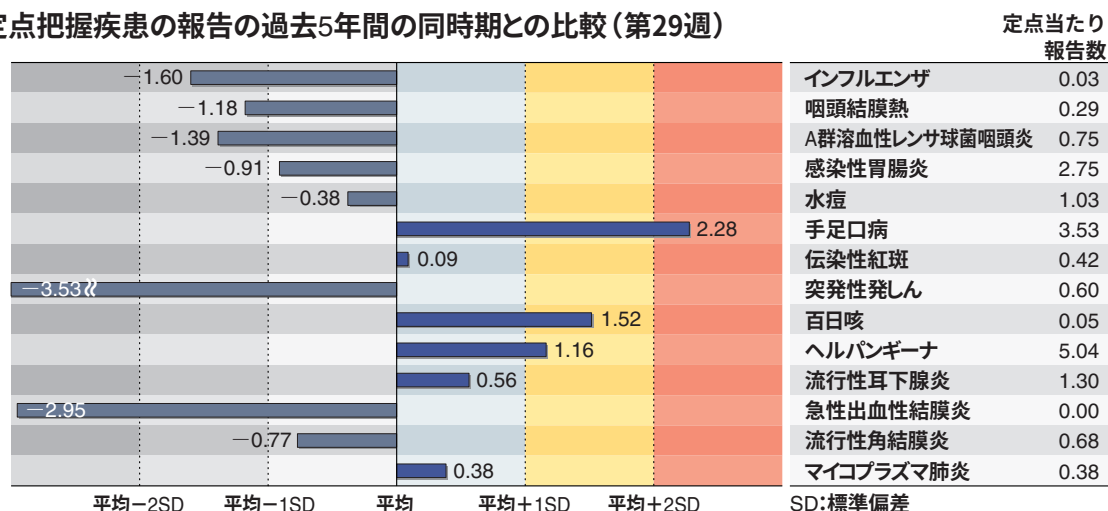
感染地域: 国内5例
国内の感染地域: 群馬県1例、神奈川県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)2例
年齢群: 1歳(2例)、10～14歳(1例)、20～24歳(1例)、40代(1例)
累積報告数: 317例〔麻しん(検査診断例115例、臨床診断例97例)、修飾麻しん(検査診断例105例)〕

(補)他に2010年第28週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域: インド)、E型肝炎1例(感染地域: 山形県__感染源: 不明)、オウム病1例(感染地域: 愛知県__感染源: ハト/インコ)、デング熱2例(感染地域: インドネシア1例、タイ1例)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(90代)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(50代、感染地域: 京都府)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例〔遺伝子型: *VanB* 2例__菌検出検体: 便/血液1例、便/胆汁1例、遺伝子型: 不明1例(死亡)__菌検出検体: 胆汁〕などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第29週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(1.05)、三重県(0.10)、佐賀県(0.08)、福井県(0.06)、香川県(0.06)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は167例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では大分県(1.03)、広島県(0.83)、宮崎県(0.75)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別では鳥取県(2.32)、福井県(2.18)、石川県(1.90)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。都道府県別では大分県(5.9)、宮崎県(5.7)、岡山県(4.6)が多い。

水痘の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別では愛媛県(2.08)、福井県(1.55)、滋賀県(1.50)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では新潟県(10.5)、高知県(9.4)、福井県(8.9)、静岡県(7.6)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では長崎県(1.16)、千葉県(1.03)、三重県(1.00)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(0.18)、千葉県(0.15)、栃木県(0.13)、神奈川県(0.13)、高知県(0.13)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮城県(10.6)、山形県(9.7)、新潟県(9.3)が多い。

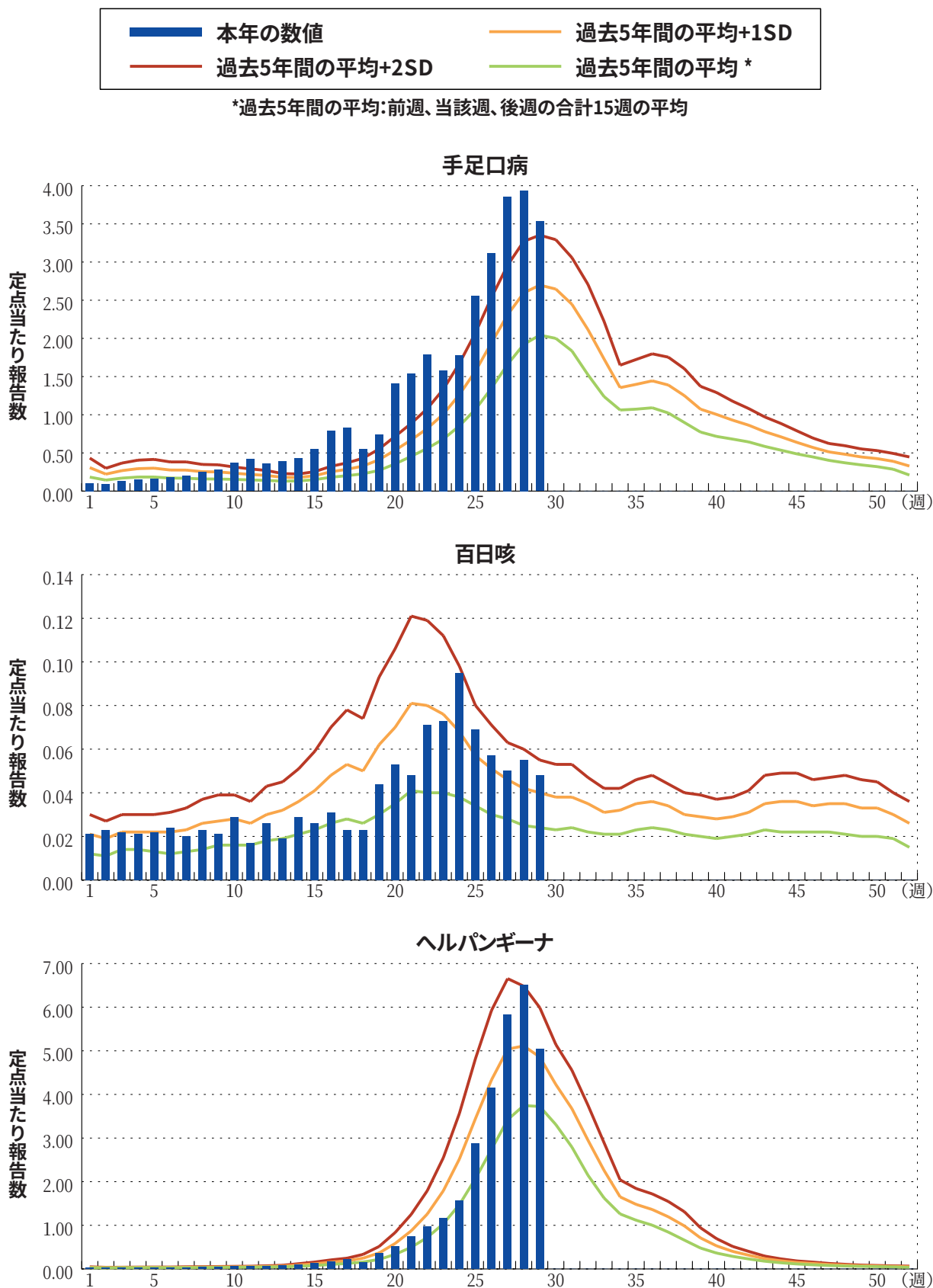
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では和歌山県(3.35)、福島県(2.81)、山口県(2.59)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(2.29)、佐賀県(1.67)、宮城県(1.33)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2010年第29週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

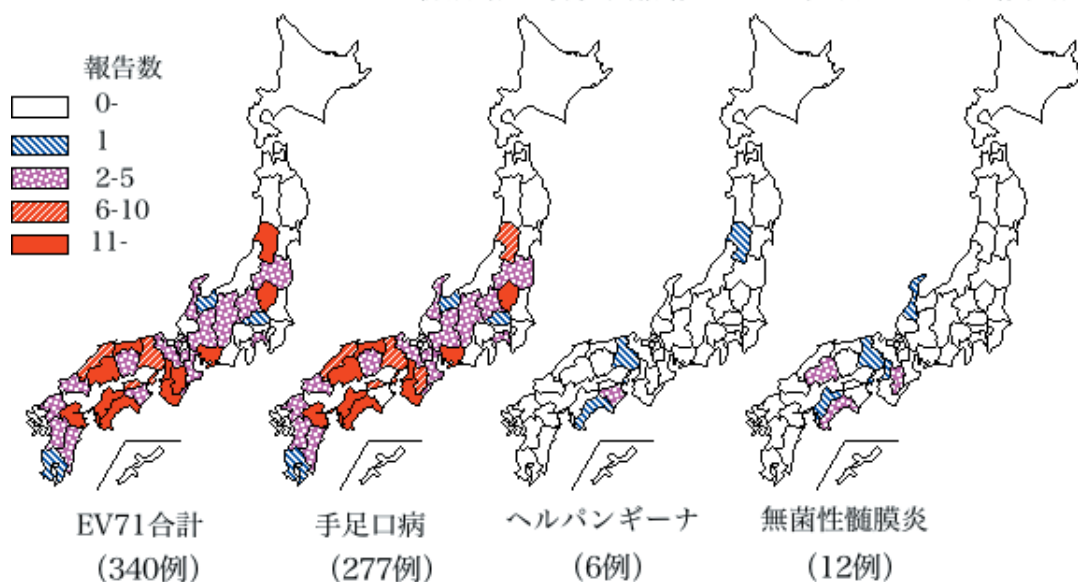
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2010年7月29日現在報告分)

◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年

エンテロウイルス71型(EV71)は、過去1997、2000、2003、2006年と3年周期で増加を繰り返している。2009年の報告は少なかったが、2010年に入ってから例年より早い時期に検出されており、第28週までに高知県67件、鳥取県34件、大阪府28件、大分県25件、和歌山県22件、広島県19件、愛媛県16件、愛知県14件、山形県13件、栃木県、奈良県各12件、兵庫県9件、島根県8件、香川県7件など西日本を中心に32府県から340件の検出が報告されている。このうち、手足口病患者から277件、無菌性髄膜炎患者から12件、ヘルパンギーナ患者から6件が検出されている。

都道府県別診断名別エンテロウイルス71型分離・検出報告状況、2010年
(病原微生物検出情報: 2010年7月29日現在報告数)



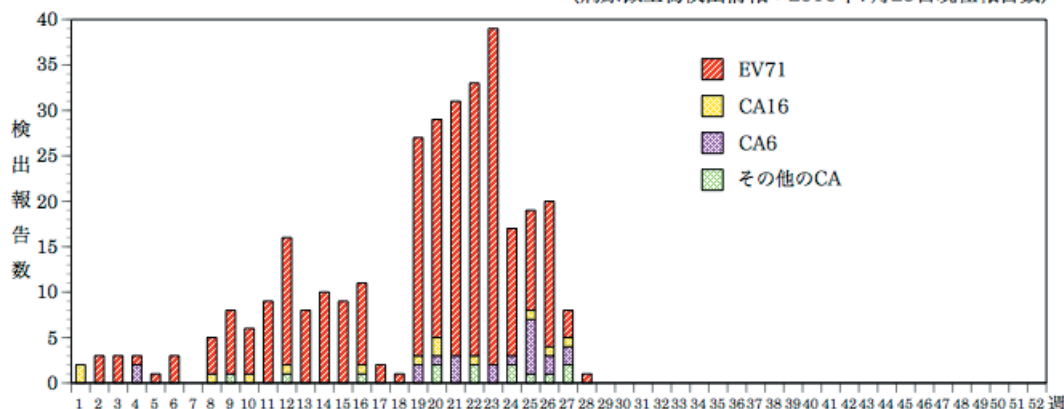
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

週別手足口病患者からのエンテロウイルス分離・検出報告数、2010年

(病原微生物検出情報: 2010年7月29日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

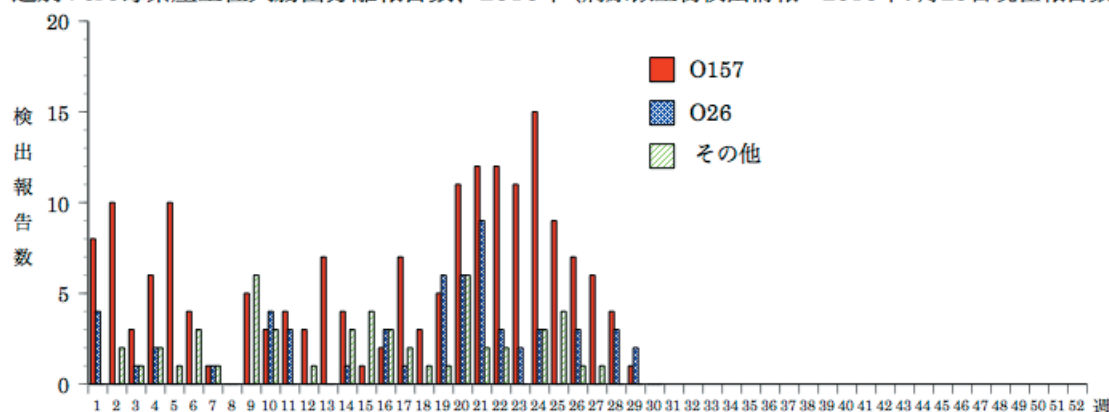
Infectious Agents Surveillance Report

EV71の他に手足口病患者から検出されているエンテロウイルスは、A群コクサッキーウイルス(CA)16型13件(山形県10件、神奈川県2件、愛媛県1件)、CA6型21件(神奈川県8件、秋田県、富山県各6件、栃木県1件)、CA4型9件(神奈川県、大阪府各3件、奈良県、和歌山県、福岡県各1件)、CA5型3件(島根県2件、高知県1件)、CA2型1件(高知県)などが報告されている。

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年

2010年第1～29週までの検出総数は284件で、第9～10週に山形県の老人ホームでの集団発生からO111(VT1)が7件、第22週に兵庫県の飲食店での集団発生からO157が3件検出されている。第3週に大阪府でインドネシアへの渡航者、第6週に千葉県でニュージーランドへの渡航者、第16週に静岡県でベトナムへの渡航者、第22週に千葉県で韓国への渡航者各1例からO157が検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2010年(病原微生物検出情報: 2010年7月29日現在報告数)



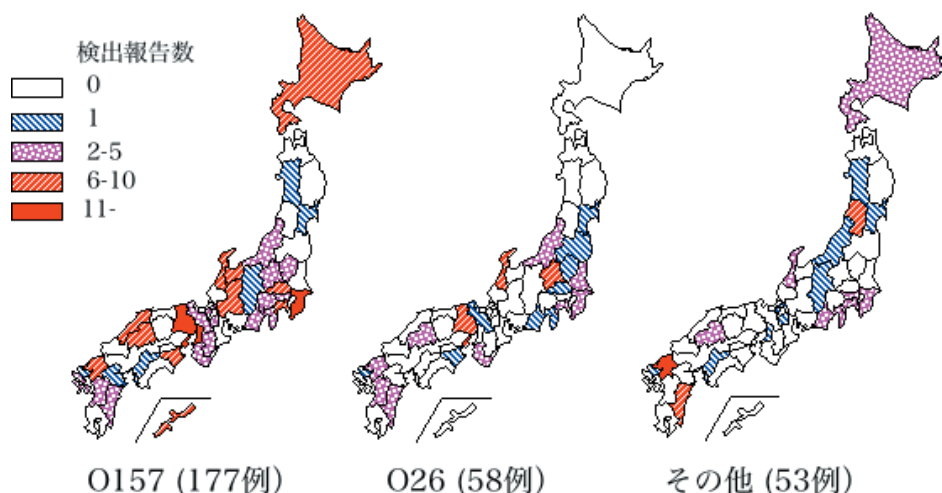
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

2010年1～7月にO157が33都道府県から177件、O26が20府県から58件、その他の血清型が18都道府県から53件(このうち、O91が9道府県から12件、O111が4県から10件)報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2010年

(病原微生物検出情報: 2010年7月29日現在報告数)



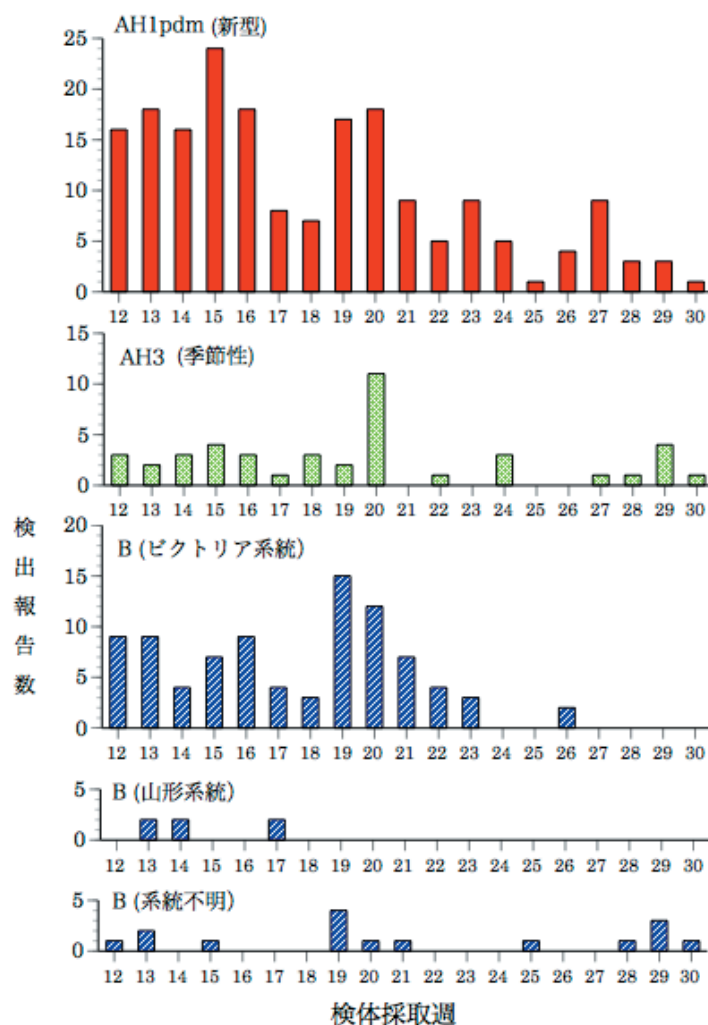
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

◆インフルエンザウイルス 2009/10シーズン

AH1pdmは2010年第4週以降減少し、第12週以降は少数の報告となっている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2010年第12～30週
(病原微生物検出情報: 2010年7月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)

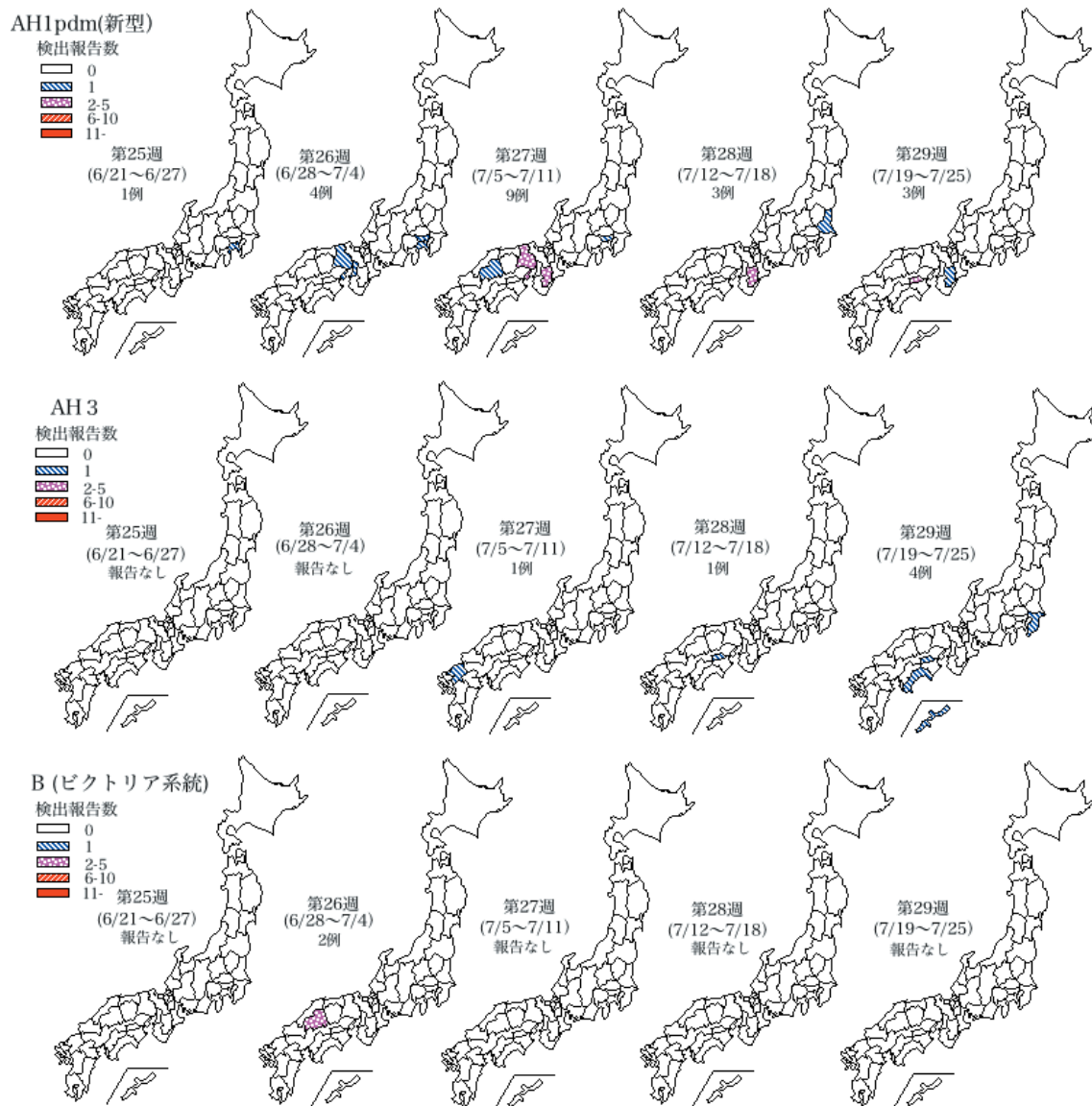


直近の2010年第25～29週の5週間ではAH1pdmが8都府県から20件(奈良県8件、兵庫県3件、東京都、神奈川県、香川県各2件、茨城県、大阪府、広島県各1件)、AH3亜型が5県から6件(香川県2件、千葉県、高知県、福岡県、沖縄県各1件)、B型はビクトリア系統株が広島県から2件、系統不明株が2県から5件(沖縄県4件、茨城県1件)報告されている。AH1pdm(20件)は分離・検出例全体(33件)の61%を占めている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2010年第25～29週

(病原微生物検出情報: 2010年7月29日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



◆腸管出血性大腸菌感染症 2009年 (2010年6月30日現在)

腸管出血性大腸菌感染症は、感染症法に基づく3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が診断した全ての医師に義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。腸管出血性大腸菌感染症の報告は1996年8月6日に伝染病予防法のもとで指定伝染病に規定された時に始まっているが、以下においては、1999年4月の感染症法施行以降の報告の範囲で記述する。

■年次推移 (図1)

2009年の年間報告数(診断週が2009年第1～53週のもので、2010年6月30日までに報告されたもの)は3,889例であった。2000～2008年の年間累積報告数(2000年3,648例、2001年4,435例、2002年3,183例、2003年2,999例、2004年3,764例、2005年3,589例、2006年3,922例、2007年4,617例、2008年4,321例)と比較すると、2007年、2001年、2008年、2006年に次いで5番目に多かった。3,889例のうち有症状者は2,607例であり、67.0%を占めた。

図1-1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・症状別発生状況(1999年4月～2009年)

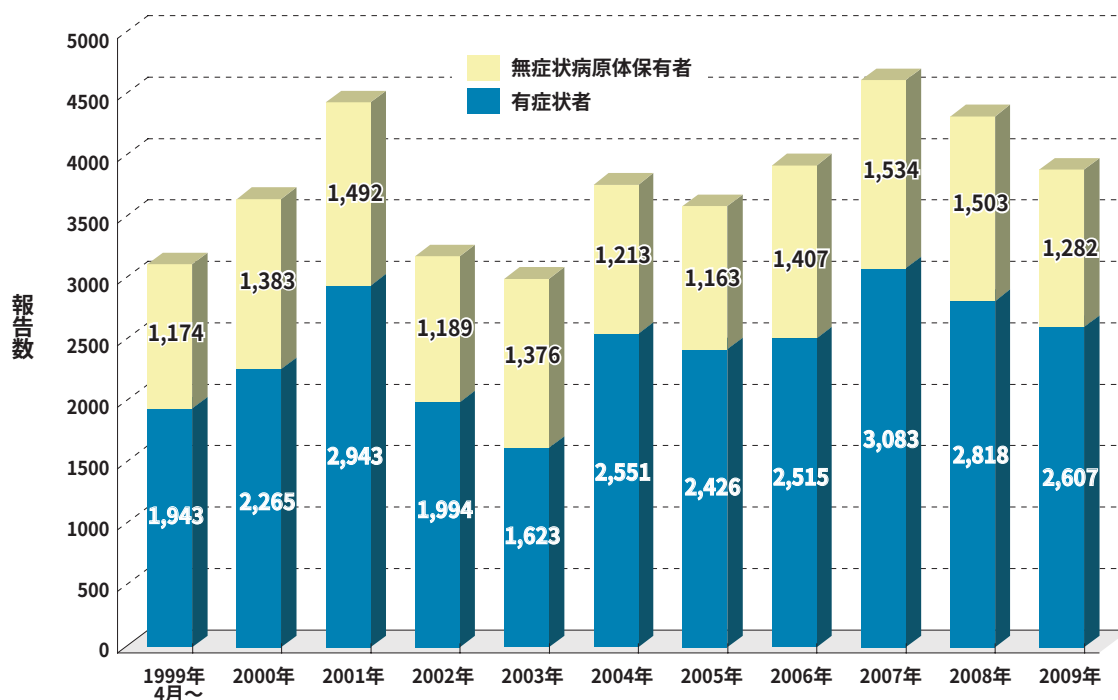
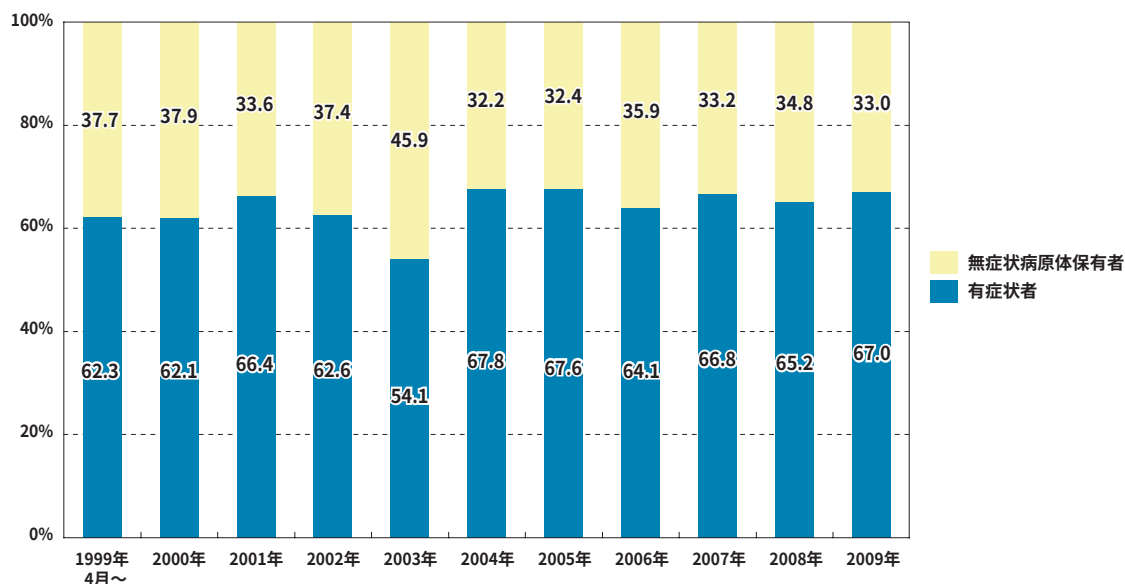


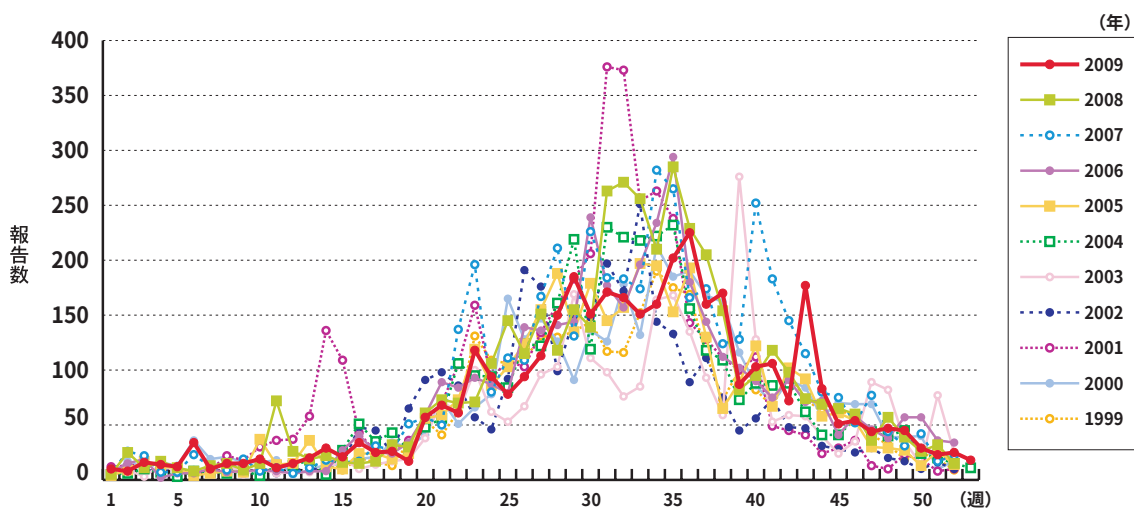
図1-2. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・有症状者割合(1999年4月～2009年)



■週別推移(季節性)(図2)

例年、報告数の最大のピークは夏季にみられ、2009年においても8月をピークとして、7月中旬から9月中旬にかけて報告数が多かった。なお、10月(第43、44週)にみられた報告数の増加は、佐賀県の保育施設において大規模な集団感染(133例)が発生したためのものである。

図2. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年第14週～2009年)

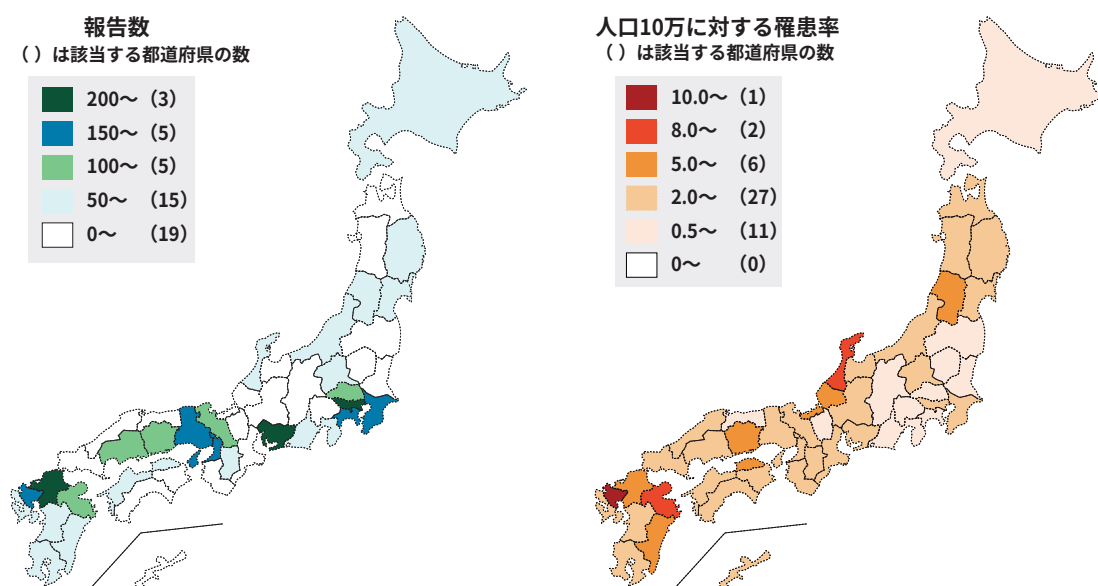


■都道府県(報告地であり、必ずしも感染した都道府県を示すものではない)(図3)

都道府県別にみると、福岡県(337例)、東京都(316例)、愛知県(206例)、大阪府(194例)、佐賀県(188例)、兵庫県(178例)、神奈川県(173例)の順に多く、13の都府県で年間累積報告数が100例を超えた。人口10万人当たりの罹患率でみると、佐賀県(22.1:報告数188例)、大分県(9.3:報告数111例)、石川県(8.1:報告数94例)、福岡県(6.7:報告数337例)、岡山県(6.1:報告数118例)の順に多かった。

図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告数と罹患率(2009年)

「総務省統計局推計人口(2010年4月16日公表データ)使用」



■感染地域(確定または推定として報告されている)

感染地域を国内とするものが3,840例(98.7%)、国外とするものが42例(1.1%)、不明が7例(0.2%)であった。

国内の感染地域詳細として3,840例について内訳をみると、福岡県(303例)、東京都(221例)、大阪府(194例)、愛知県(191例)、佐賀県(181例)、兵庫県(164例)、千葉県(129例)が多かった。国内感染での比較的大きな集団発生事例としては、佐賀県の保育施設関連(133例:第43～46週)、愛媛県の保育施設関連(46例:第22～24週)¹⁾、沖縄県の保育施設関連(36例:第22～25週)、複数の都府県にまたがるステーキチェーン店関連(35例:第35～38週)²⁾、大分県の保育施設関連(31例:第5～7週)³⁾ などがあった。

国外の感染国の内訳は、中国13例、韓国12例、インドネシア4例、トルコ3例、ハワイ2例、イタリア/フランス2例、台湾、ネパール、ウズベキスタン、ロシア、トルコ/エジプト、渡航先不明各1例であった。

* 病原微生物検出情報IASR

1) Vol.31 p164.2010 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/364/dj3649.html>

2) Vol.31 p156-157.2010 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/364/dj3643.html>

3) Vol.31 p162-164.2010 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/364/dj3648.html>

■性・年齢 (図4、図5)

性別では男性1,795例(うち有症状者1,249例、69.6%)、女性2,094例(うち有症状者1,358例、64.9%)で、年齢は0～96歳(中央値19歳)であった。年齢群別にみると、10歳未満1,403例(0～4歳880例、5～9歳523例)、10代546例、20代612例、30代398例、40代233例、50代231例、60代244例、70代131例、80代75例、90代16例であった。20歳未満では男性がやや多いが、20歳以上では女性が多くなっており、年齢中央値は男性15歳、女性23歳で2008年(男性12歳、女性23歳)と同様の性差が認められた。症状別でみると、男女とも30代、40代、50代で無症状病原体保有者が多かった。有症状者の占める割合は10代79.3%、10歳未満75.8%、20代72.2%、70代以上69.8%、60代59.0%の順に大きかった。

図4. 腸管出血性大腸菌感染症の年齢群別割合(2009年)

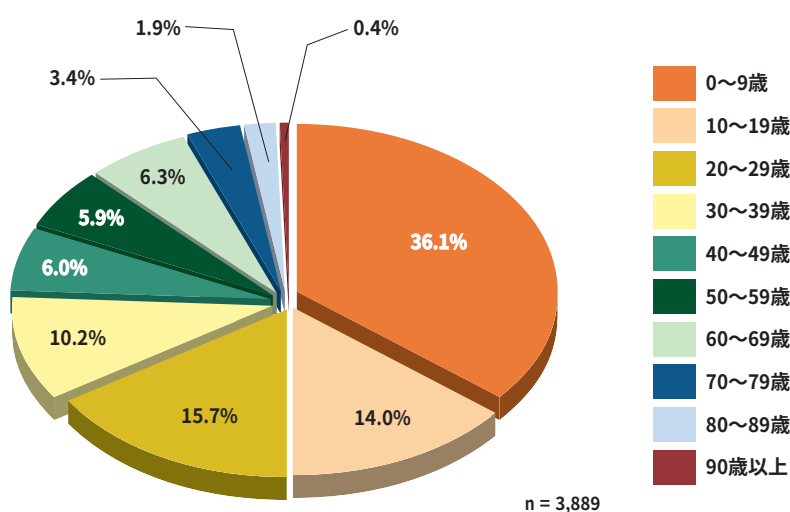
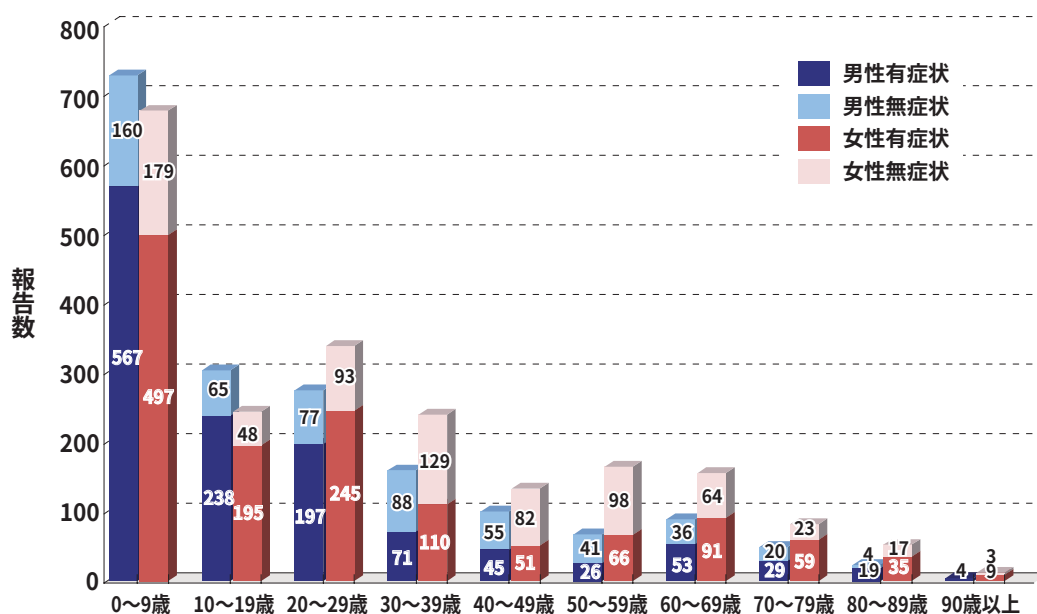


図5. 腸管出血性大腸菌の性別・年齢群別・症状の有無別報告数(2009年)



■感染経路・感染源(確定または推定として報告されている)

3,889例の感染経路は、経口感染1,609例(41.4%)、接触感染727例(18.7%)、経口または接触感染156例(4.0%)、動物からの感染16例(0.4%)、経口または接触または動物等からの感染5例(0.1%)、経口または動物・蚊・昆虫等(以下動物等)からの感染3例(0.1%)、その他43例(1.1%)、不明・記載なしが1,330例(34.2%)であった。その他としては、職場の定期検便・健康診断38例、実験室内感染1例、農業体験1例などが報告されていた。経口感染とされた1,773例(複数の感染経路での報告を含む)のうち、肉類の喫食が記載されていたものは538例あった。538例のうち、232例は生肉(加熱不十分の肉を含む)を喫食しており、種類として生レバー・レバ刺しが152例と多かった。

■O血清群・毒素型(表1)

3,889例のO血清群は、O157 2,545例(65.4%)、O26 716例(18.4%)、O121 90例(2.3%)、O103とO111が81例(2.1%)の順に多く、従来O157、O26に次いで多かったO111に代わり、本年はO121が3番目に多い血清群であった⁴⁾。毒素型も加えると、O157 VT1・VT2 1,598例(うち有症状者75.2%)、O157 VT2 728例(うち有症状者63.6%)、O26 VT1 647例(うち有症状者53.9%)の順であり、これは従来と同様であった。集団発生事例では例年保育施設・幼稚園に関連したものが多く含まれているが、なかでもO26によるものが多く、2009年は12事例が確認され、そのうち30例以上の感染者(無症状病原体保有者を含む)が報告されたものが3事例あった⁵⁾。

* 病原微生物検出情報IASR

4) Vol.31 p168-169.2010 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/364/dj364d.html>

5) Vol.31 p152-153.2010 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/364/graph/t3642j.html>

表1. 腸管出血性大腸菌感染症の報告症例における原因菌の血清群と毒素型(2009年)

O血清群	毒素型	有症状者 (国外感染再掲)	無症状病原体保有者 (国外感染再掲)	合計 (国外感染再掲)
O157	VT1	61 (2)	33	94 (2)
	VT2	463 (5)	265 (8)	728 (13)
	VT1・VT2	1,201 (15)	397	1,598 (15)
	VT不明	114 (4)	11	125 (4)
	小計	1,839 (26)	706 (8)	2,545 (34)
O26	VT1	349 (1)	298	647 (1)
	VT2	1	0	1
	VT1・VT2	33	22	55
	VT不明	9	4	13
	小計	392 (1)	324	716 (1)
O121	VT2	67	19	86
	VT1・VT2	3	0	3
	VT不明	1	0	1
	小計	71	19	90
O103	VT1	44	32 (1)	76 (1)
	VT1・VT2	1	1	2
	VT不明	2	1	3
	小計	47	34 (1)	81 (1)
O111	VT1	37 (2)	18	55 (2)
	VT2	4	3	7
	VT1・VT2	13	3	16
	VT不明	3	0	3
	小計	57 (2)	24	81 (2)

O91	VT1	4	44 (1)	48 (1)
	VT2	1	2	3
	VT1・VT2	0	6	6
	VT不明	0	1	1
	小計	5	53 (1)	58 (1)
O145	VT1	16	12	28
	VT2	14 (1)	3	17 (1)
	VT1・VT2	1	0	1
	小計	31 (1)	15	46 (1)
O165	VT2	5	1	6
	VT1・VT2	4	0	4
	VT不明	1	0	1
	小計	10	1	11
その他	O1 VT1	1	1	2
	O1 VT2	1	2	3
	O5 VT1	2	1	3
	O6 VT1	0	1	1
	O8 VT1・VT2	0	1	1
	O18 VT2	1	0	1
	O18 VT不明	1	0	1
	O20 VT1	1	0	1
	O25 VT1	1	0	1
	O28 VT1	0	1	1
	O28ac VT2	0	1	1
	O55 VT1	2	2	4
	O63 VT2	2	1	3
	O74 VT2	1	2	3
	O74 VT不明	1	0	1
	O115 VT1	2	4	6
	O119 VT1	3	1	4
	O124 VT1・VT2	0	1	1
	O125 VT1	0	1	1
	O126 VT1	1	0	1
	O128 VT1	0	1	1
	O128 VT1・VT2	0	5	5
	O128 VT不明	0	3	3
	O136 VT1	0	2	2
	O146 VT1	1	1	2
	O146 VT1・VT2	0	4	4
	O167 VT1	0	1	1
	O177 VT2	1	0	1
	OUT VT1	0	1	1
	OUT VT1・VT2	1	1	2
	O不明 VT1	10	21	31
	O不明 VT2	22	22 (2)	44 (2)
	O不明 VT1・VT2	57	19	76
	O不明 VT不明	36	1	37
	小計	148	102 (2)	250 (2)
複数検出	O157 VT1・VT2 + O157 VT2	2	2	4
	O157 VT2 + O165 VT1・VT2	1	0	1
	O157 VT1・VT2 + O165 VT2	1	0	1
	O157 VT1・VT2 + O157 VT1	0	1	1
	O157 VT2 + O119 VT1	1	0	1
	O111 VT1 + O145 VT1	1	0	1
	O145 VT1 + O157 VT不明	1	0	1
	O8 VT2 + O124 VT2	0	1	1
	小計	7	4	11
総計		2,607 (30)	1,282 (12)	3,889 (42)

■重症例・死亡例(図6、表2、表3)

2006年の4月(第13週～)から溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例に限り、菌が分離されなくても、便からのVero毒素(VT)検出、あるいは血清におけるO抗原凝集抗体または抗VT抗体検出によって診断されたものが、届出の対象となった。同時に届出様式が変更され、それまで任意記載であった臨床症状の報告は、主な症状が選択式となり、急性腎不全、痙攣、昏睡、脳症などが選択項目となり、これらの症状も把握されやすくなった。

HUSは83例が報告され、有症状者の3.2%が発症していた。2006、2007、2008年の報告数(102、129、94例)および有症状者での発症率(4.1、4.2、3.3%)と比較し、いずれも下回った。性別では男性31例、女性52例であった。年齢は1～89歳(中央値5歳)で、年齢群別では0～4歳が37例(有症状者の5.5%)と最も多く、5～9歳23例(同5.8%)、10～14歳10例(同4.1%)、15～64歳8例(同0.7%)、65歳以上5例(同2.3%)であった。例年、HUS発症例は10歳未満の小児に多くみられているが、有症状者に占めるHUS発症率でみると、2009年は5～9歳の年齢群が0～4歳をわずかに上回っていた。HUS発症例の診断方法は、菌分離が55例(66.3%)、菌は分離されなかったが血清でのO抗原凝集抗体検出が27例(32.5%)で、便から直接のVT検出が1例(1.2%)であった。菌が分離された55例の血清群・毒素型をみると、O157 VT1・VT2 28例、O157 VT2 18例などO157が計50例で全体の90.9%を占め、他にO121 VT2が3例、O111 VT1・VT2が1例、O165 VT2が1例であった。また、O抗原凝集抗体の検出により診断された27例のうち、確認できた範囲では14例がO157であった。

死亡例の把握は届出時点で記載されていたか、または届出後に任意に追加報告されたものに限られるが、3例みられており、内訳は80代女性(O157 VT1・VT2)、80代女性(O157 VT1・VT2)、80代男性(O157 VT2)であった。報告されたHUS発症例(83例)のうち死亡例はなかった。

なお、HUSの合併や死亡の報告については、届出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があるため、このような発生があった場合には報告の追加、修正をお願いしている。

図6. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例の性別・年齢群別報告数(2009年)

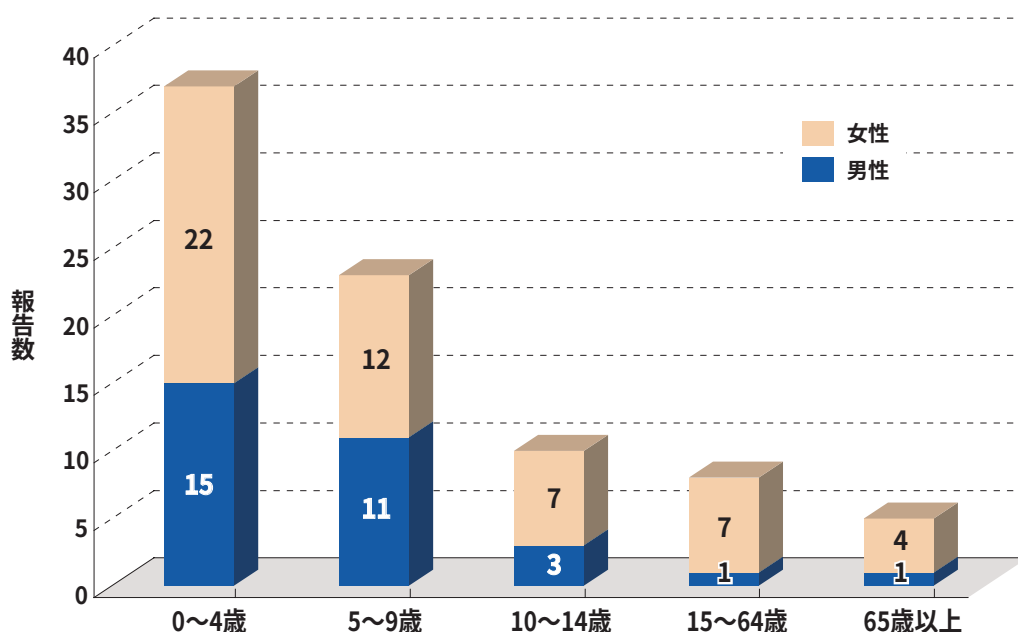


表2. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例の年齢別報告数と有症状者に占める割合(2009年)

2009年			
年齢群	HUS	有症状者	HUS/有症状者 (%)
0～4歳	37	669	5.5%
5～9歳	23	395	5.8%
10～14歳	10	245	4.1%
15～64歳	8	1,077	0.7%
65歳以上	5	221	2.3%
総計	83	2,607	3.2%

表3. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例における分離菌の血清群と毒素型(2009年)

O血清群		毒素型	2009年
O157		VT1	0
		VT2	18
		VT1・VT2	28
		VT不明	3
複数菌検出 O157 VT1・VT2 + O157 VT2			1
小計			50
その他	O121	VT2	3
	O111	VT1・VT2	1
	O165	VT2	1
小計			5
総計			55

<参考>菌分離以外の診断によるHUS報告症例

血清でのO抗原凝集抗体	27
[うちO157LPS抗体陽性]	[14]
便でのベロ毒素検出	1

■2009年のまとめ

感染症法施行以降の年間累積報告数を2000年以降の10年間でみると、2009年は2007年、2001年、2008年、2006年に次ぐ5番目の報告数であった。2009年はステーキチェーン店と焼肉チェーン店関連で3件の広域集団感染事例が発生した。これらの事例で原因食材と考えられた結着及び漬け込み等の加工処理された角切りステーキは、腸管出血性大腸菌をはじめとした病原微生物が内部に拡大している恐れがあり、喫食の際には、中心部までの十分な加熱調理が必要である。また、保育施設・幼稚園での集団感染事例が従来と変わらず各地で発生がみられた。

HUS発症例は83例(2004年48例、2005年42例、2006年102例、2007年129例、2008年94例)で、HUS発症者の届出基準が改正された2006年以降の過去3年の報告数と比べて少なく、死亡の報告数は3例(1999年1例、2000年2例、2001年4例、2002年4例、2003年2例、2004年5例、2005年10例、2006年3例、2007年4例、2008年8例)で、過去2年と比べて少なかった。小児や高齢者において、HUSなどの重症例や死亡例が多くみられており、特に10歳未満の小児は報告数が多く、HUS発症率は成人(15～64歳)の約7.6倍であった。感染源・感染経路として、83例中13例(16%)で生肉(ユッケ、レバー、牛刺し、加熱不十分な肉等)の喫食が記載されており、13例中11例は小児で、うち3例は5歳未満であった。

感染経路や感染源の推定・確定は、本症の潜伏期間が2～14日と比較的長いこともあり、はっきりしないことも多いが、近年生肉や生レバーが感染源と見られる届出も多く認められている。特に小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控える必要がある。食品の取り扱いには十分注意して、食中毒の発生予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。最近では自治体をまたいだ広域発生事例も散見されており、食材・食品の流通という観点も併せ、事例調査と対策における自治体間の連携は、本疾患の対策上今後ますます重要と考える。また、保育園や幼稚園などの保育施設での集団感染事例があとを絶たない。1人では手指衛生を十分に行えない乳幼児が集団生活を営む保育施設では特に、感染症発生の早期探知と二次感染予防を含めた拡大防止策の徹底が重要である。

■2010年暫定報告数(2010年7月28日現在)

報告数は1,562例で、うちHUS発症例は34例、死亡2例〔2歳男性(HUS発症)、90代男性〕である。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

●鳥インフルエンザエジプトにおける状況

2010年7月29日－更新35

エジプト保健省は新たな鳥インフルエンザA(H5N1)感染症例を報告した。

症例はQliubia行政区Shobra Elkhima地区の20歳の女性で、7月21日に入院し、人工呼吸器にて呼吸管理され、オセルタミビル投与を受けたが7月27日に死亡した。

調査によると、彼女は病気、あるいは死亡した家畜に暴露された既往があった。

症例はWHOグローバルインフルエンザサーベイランスネットワーク(WHO Global Influenza Surveillance Network: GISN)の国内インフルエンザセンターであるエジプト中央公衆衛生研究所(Egyptian Central Public Health Laboratory)により確定診断された。

エジプトから検査室診断で確定された110例の鳥インフルエンザA(H5N1)症例のうち、35症例が死亡例となっている。

●パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009

2010年7月30日－更新111

2010年7月25日現在、214の国と地域から18,398例の死亡例を含む検査室診断により診断されたパンデミックインフルエンザ(H1N1)2009が報告されている。WHOは地域事務局、加盟国と協力し、モニタリングを継続している。

世界的に見て、インフルエンザの活動は低下している。現在冬季である南半球では、インフルエンザの活動は地域によって異なっている。活動の低いチリ、アルゼンチン、現在の活動は低いが増加傾向であるオーストラリア、ニュージーランド、流行が大きく極期を過ぎた南アフリカなどである。明らかな季節性、およびパンデミックインフルエンザウイルスの感染伝播が様々なレベルで世界中、特にアメリカ大陸、南アジア、東南アジアのいくつかの国で認められている。

南半球では、冬季のインフルエンザウイルスの活動がピークを迎えた南アフリカ、活動そのものは低い、持続的に漸増しているオーストラリア、ニュージーランドを除けばインフルエンザウイルスの感染伝播は非常に低いか散発的である。南アフリカにおける外来患者の定点サーベイランスデータによると、現在のインフルエンザウイルスの活動〔主に流行しているのは季節性インフルエンザA(H3N2)とB型〕は2010年6月初旬から急激に増加し、ピークを迎えたのち7月第1週目より低下している。重症度に関するデータはまだないが、速報では本インフルエンザシーズンは臨床症状的には全体的に軽症と考えられる。オーストラリアでは、インフルエンザ様疾患(ILI)の発生率は低く、過去4週間(～7月第2週)でわずかな上昇しか認めていない。しかし、南オーストラリアではウイルス性呼吸器疾患の救急室への受診患者数が同時期に急増している。オーストラリア全体の定点検査室における呼吸器検体のインフルエンザウイルス陽性率は5%あり、約3分の2がパンデミックインフルエンザウイルス、残りが季節性インフルエンザA(H3N2)であった。一方、オーストラリアのいくつかの州においてはインフルエンザ以外の呼吸器疾患を生じるウイルスが大部分を占めている。ニュージーランドでは、ILIの発生率はベースラインと比較し低いが、ここ数カ月間は持続的に増加している。最近の報告によると、より有意であるが、地理的には偏っている発生率の上昇が7月第3週に起きているようである。インフルエンザウイルスの検出数は少ないが、ニュージーランドで分離されたウイルスの大部分はパンデミックインフルエンザウイルスであった。チリ、アルゼンチンから入手できた最新(2010年7月中旬)のウイルスサーベイランスの結果によると、アメリカ大陸の南半球温帯地域では、インフルエンザウイルスの活動は低く、主に

流行しているウイルスは、チリではパンデミックインフルエンザウイルス、アルゼンチンでは季節性インフルエンザB型となっている。また、チリでは、ILIの発生率は極めて低いですが、ロスラゴス地域(Los Lagos region)だけは流行レベルをやや上回るILIがシーズン終盤に認められている。

アジアにおいて、パンデミックインフルエンザウイルスの感染伝播が最も活発に起こっている地域はインド西部、南部の州である。多くの症例が南部のケララ州と西部のマハラシトラ州からであり、特に後者では7月第2週から3週の間患者数が増加し、わずかではあるが死亡例も報告している。数は少ないが、南部のケララ州以外の州や東部の西ベンガル州からも新しく患者が報告されている。バングラデシュでは、7月はパンデミックインフルエンザウイルス、季節性インフルエンザB型ウイルスが同時に検出されている。東南アジアでは、カンボジア、シンガポール、マレーシアなどの国々でパンデミックインフルエンザウイルスの流行がわずかながら認められている。シンガポールではインフルエンザA(H3N2)ウイルスの流行も認めている。

南アフリカを除くサハラ砂漠以南のアフリカの国々では、情報は限られているが、東アフリカ(ケニア)では季節性インフルエンザA(H3N2)ウイルスが、中央アフリカ(カメルーン)ではB型ウイルスが流行している。西アフリカのガーナは、6月から7月初旬にかけてパンデミックインフルエンザの感染伝播が持続的に起こっていたと報告している。

アメリカ大陸熱帯地域では、7月は地域内で季節性インフルエンザウイルスとパンデミックインフルエンザウイルスが同時に流行した。6月初旬より、パナマ、ニカラグアで季節性インフルエンザA(H3N2)が主に流行し、エルサルバドル、ボリビアでは季節性インフルエンザB型ウイルス、そしてコスタリカ、コロンビアではパンデミックインフルエンザウイルスが流行した。

北半球の温帯地域では、先月季節性インフルエンザウイルス、パンデミックインフルエンザウイルス共に散発的、あるいは非常に低い割合でしか検出されていない。



感染症の話

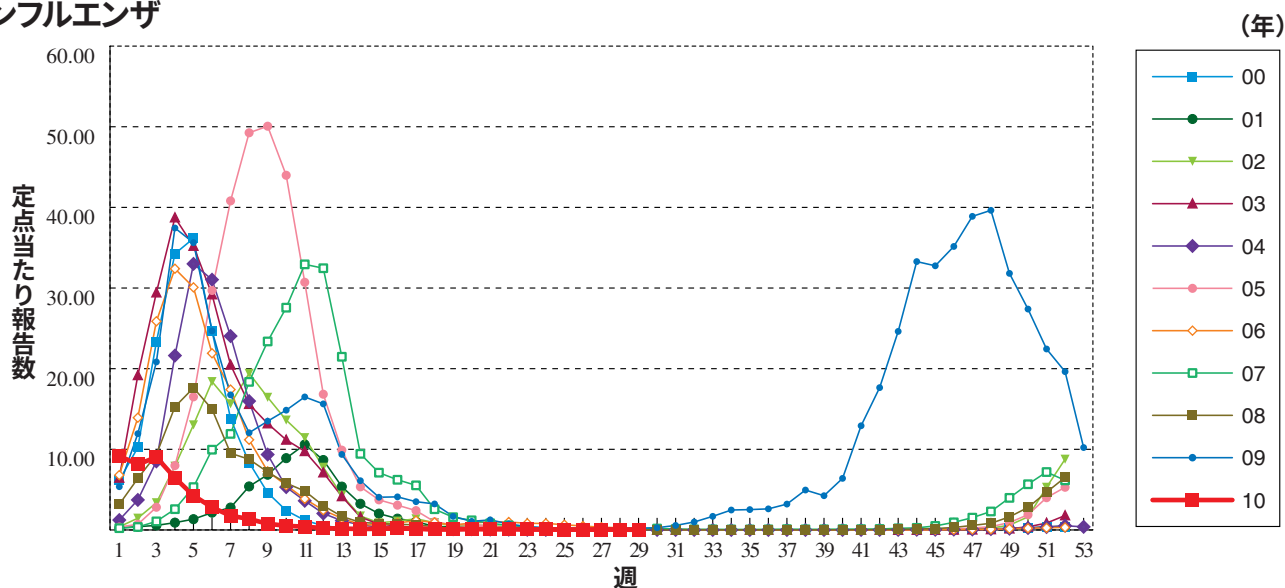
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

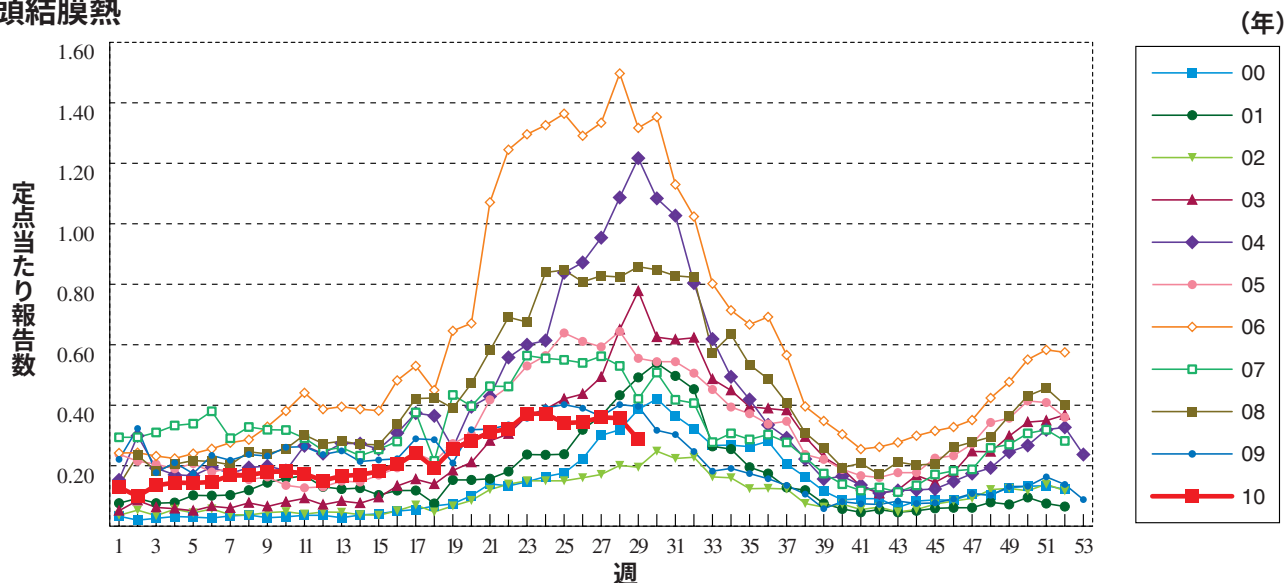


グラフ総覧(29週)

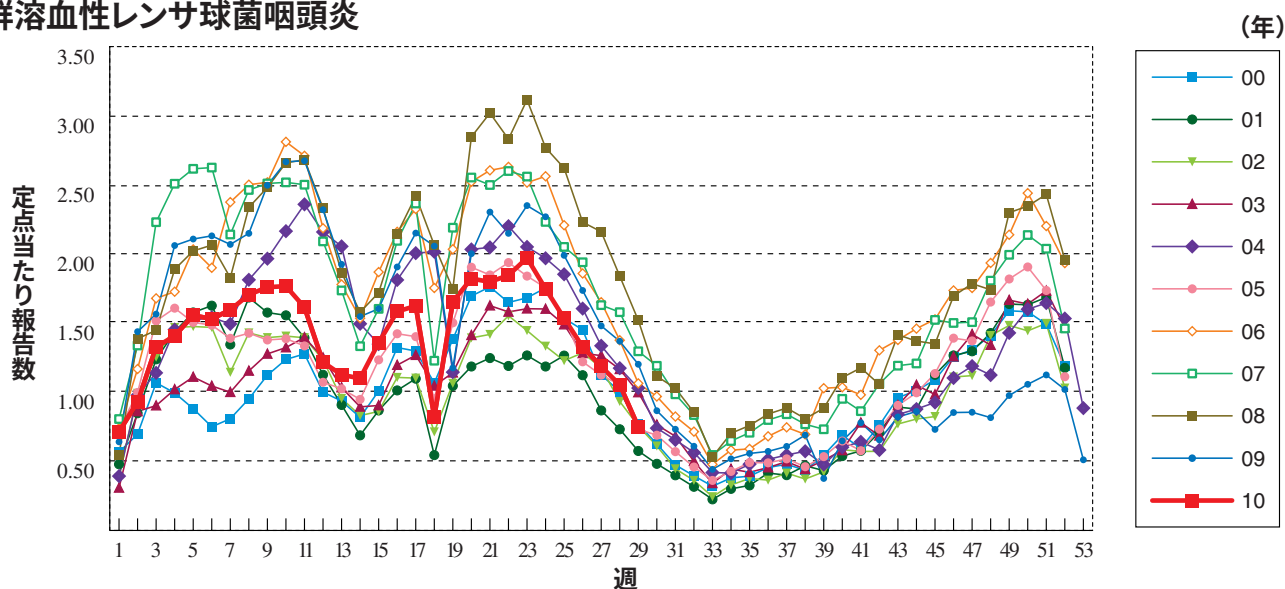
インフルエンザ



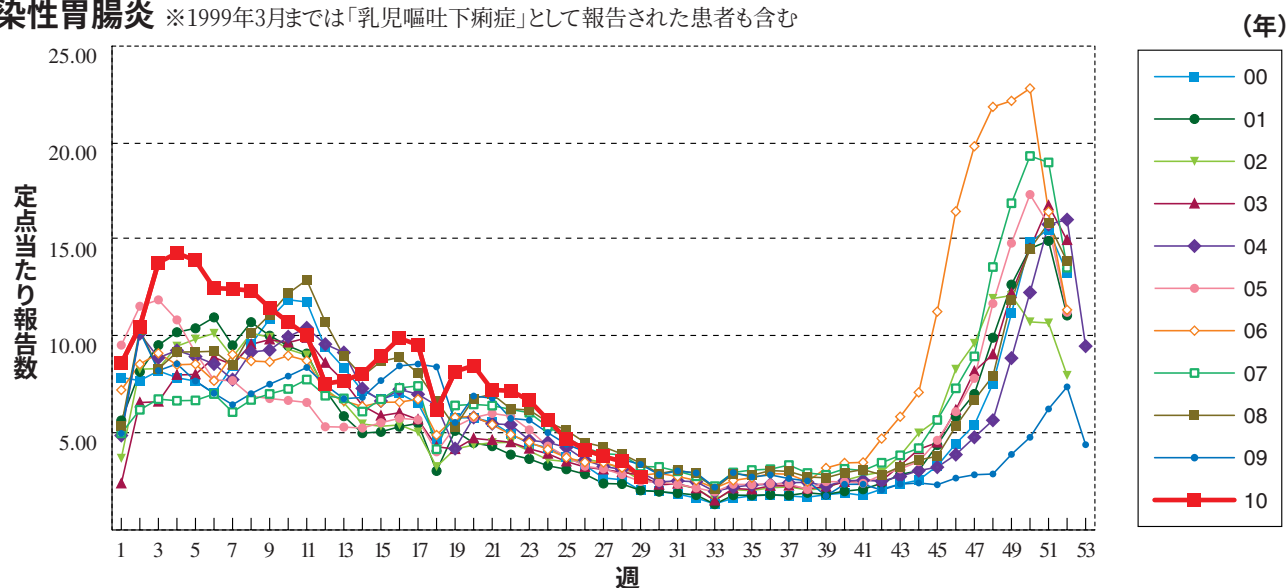
咽頭結膜熱



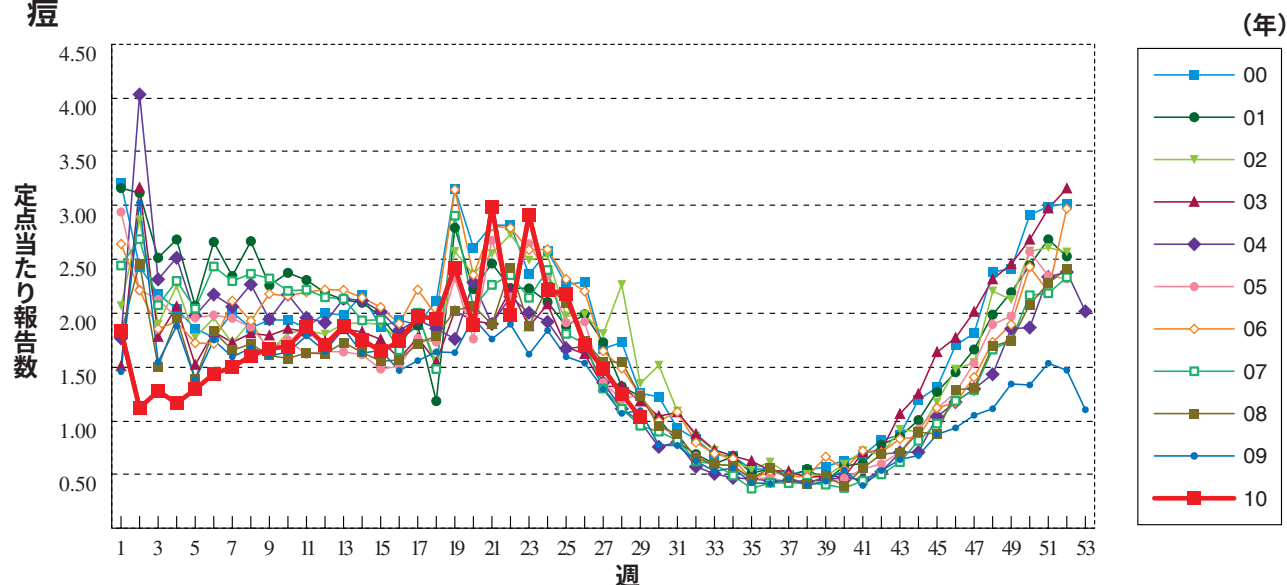
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



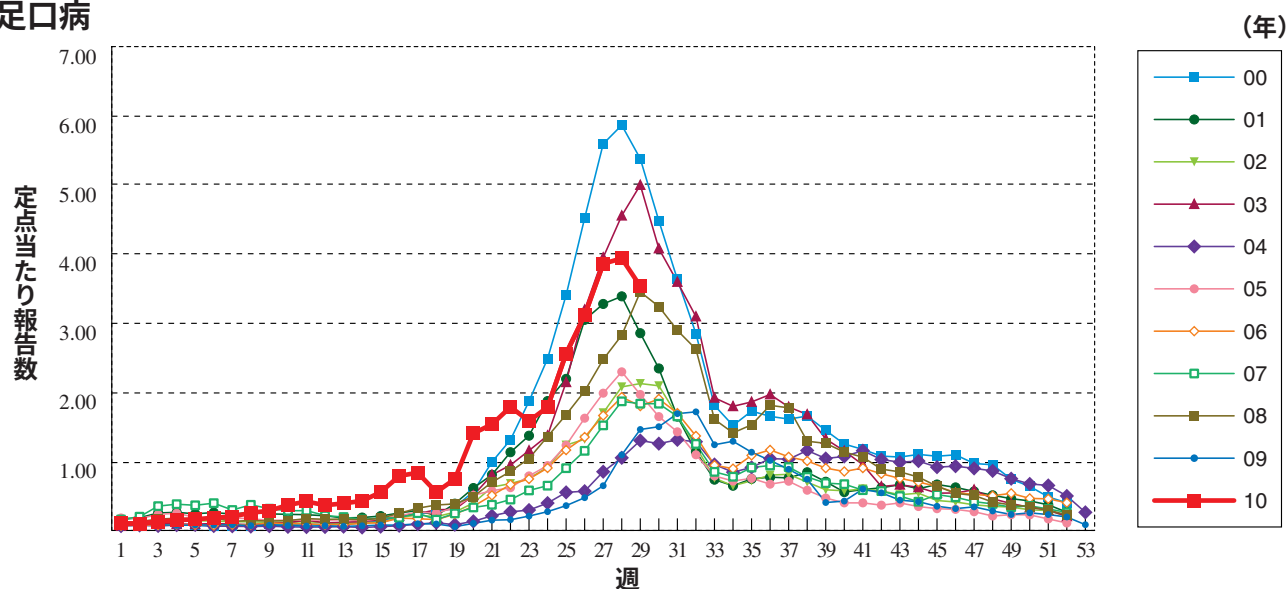
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



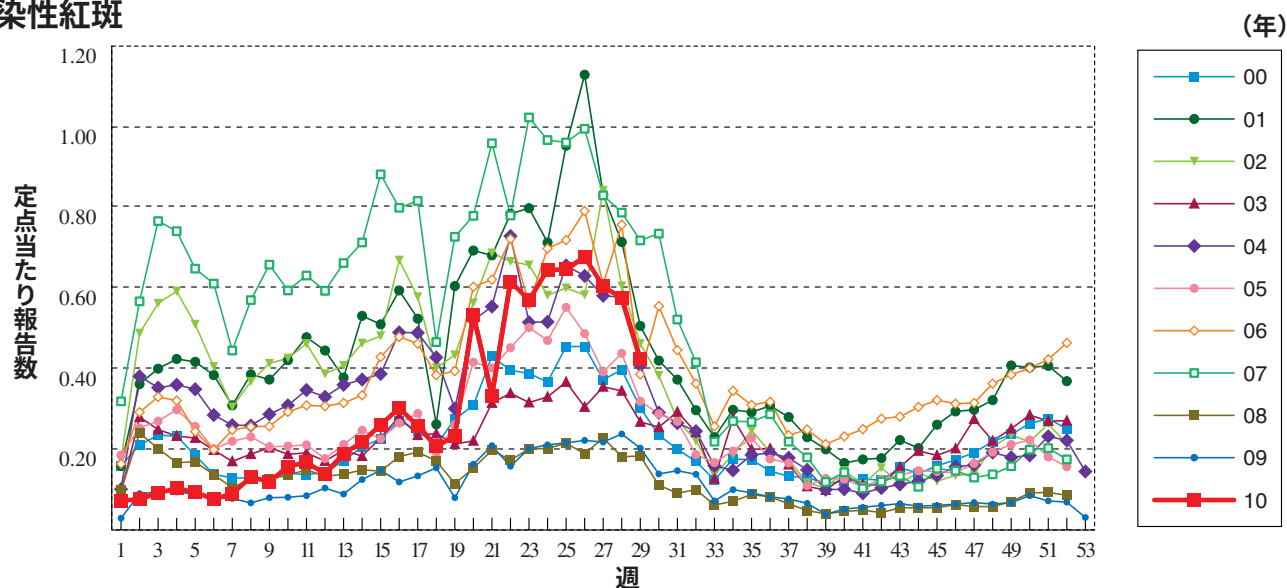
水痘



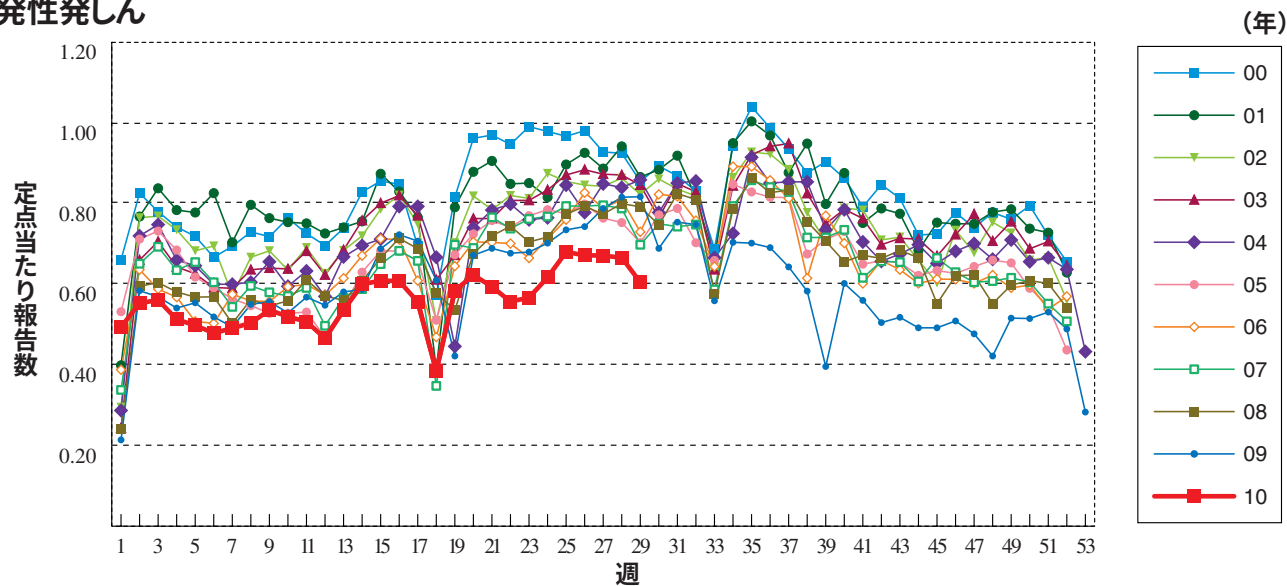
手足口病



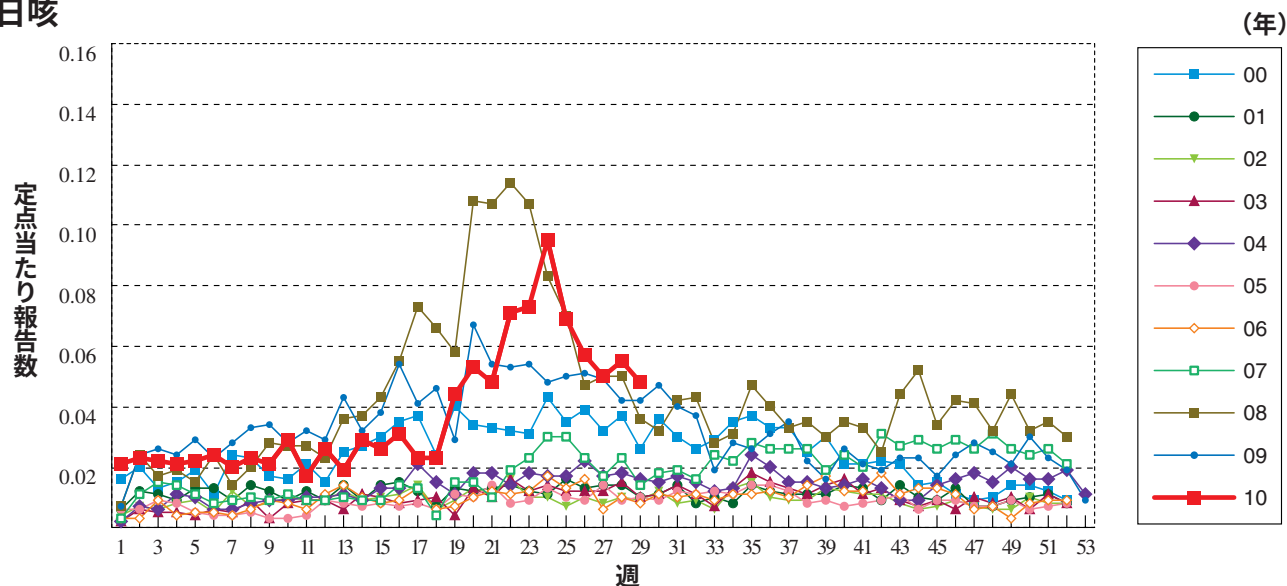
伝染性紅斑



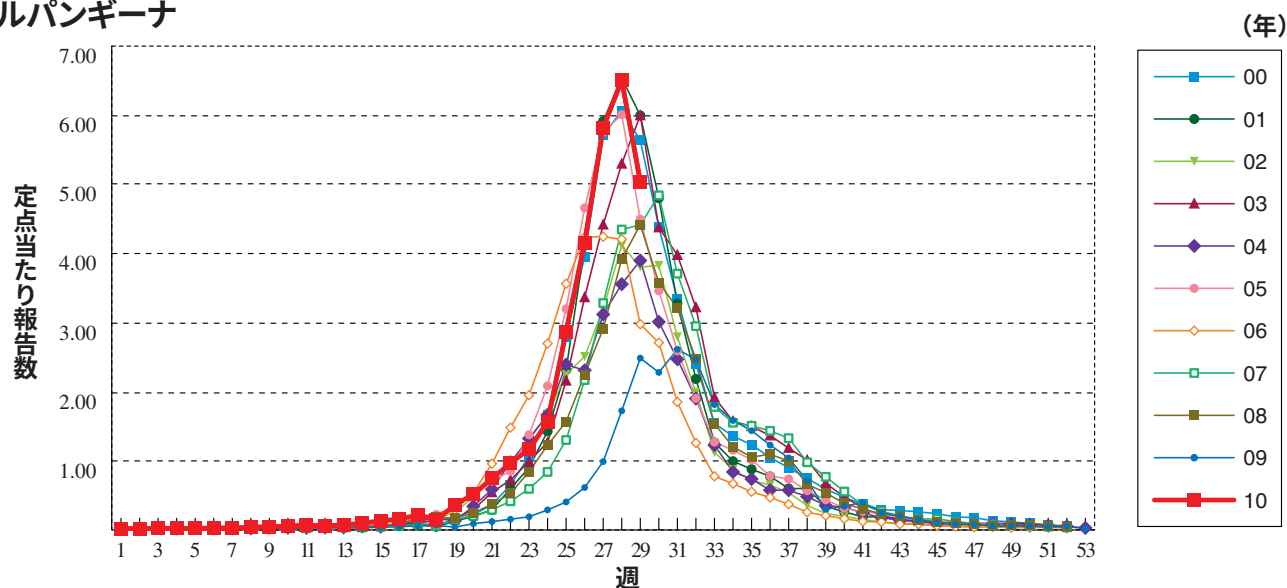
突発性発しん



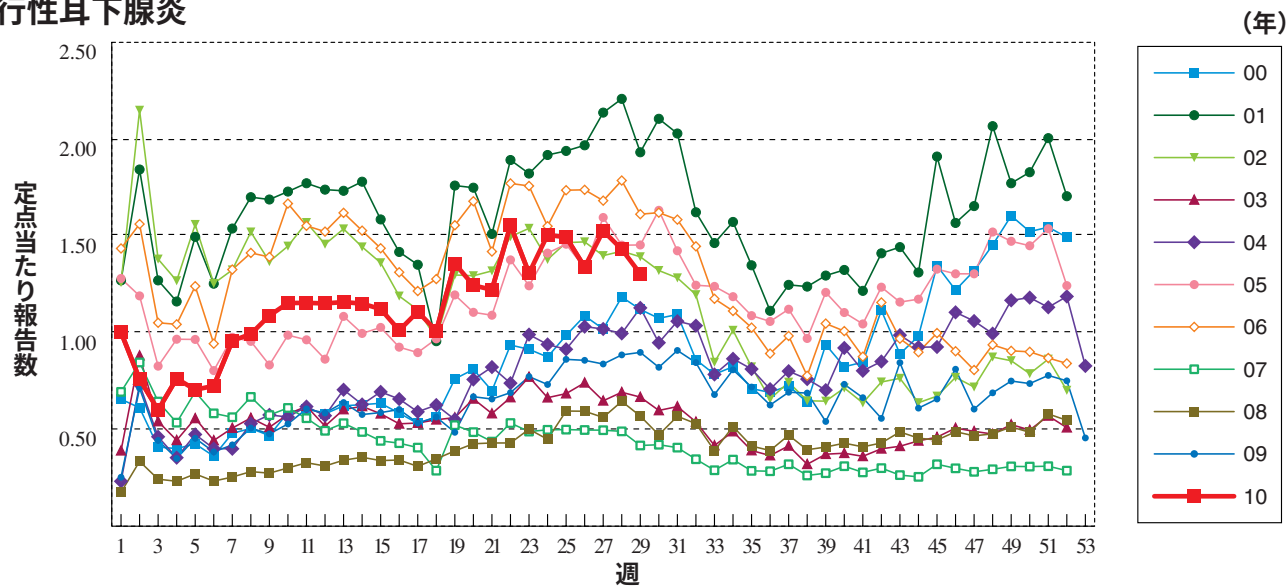
百日咳



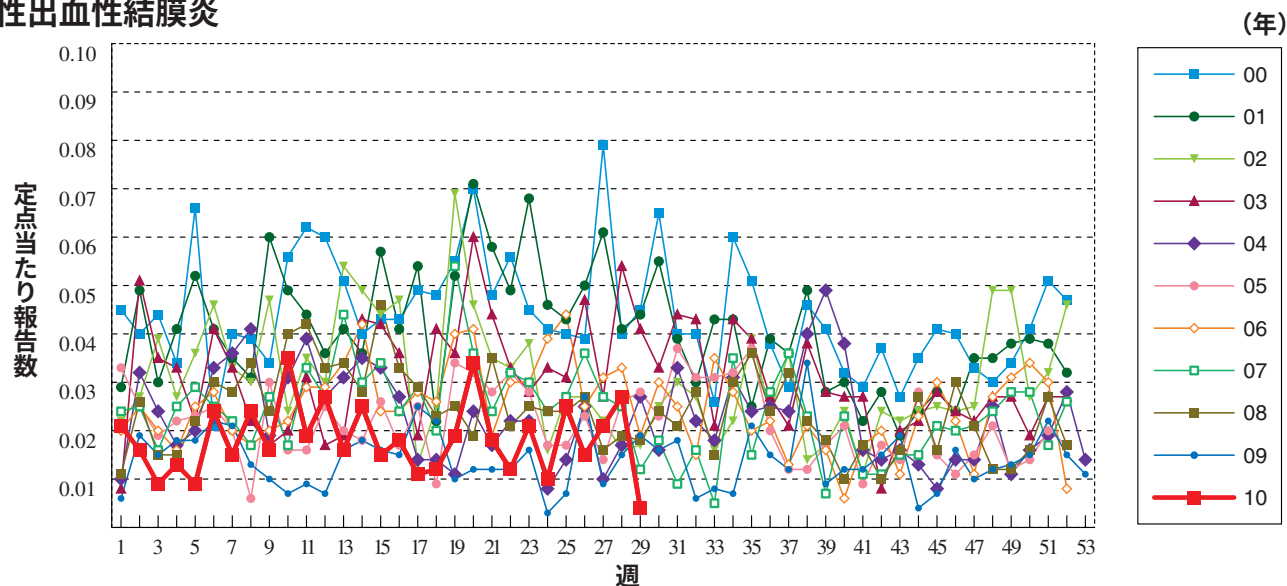
ヘルパンギーナ



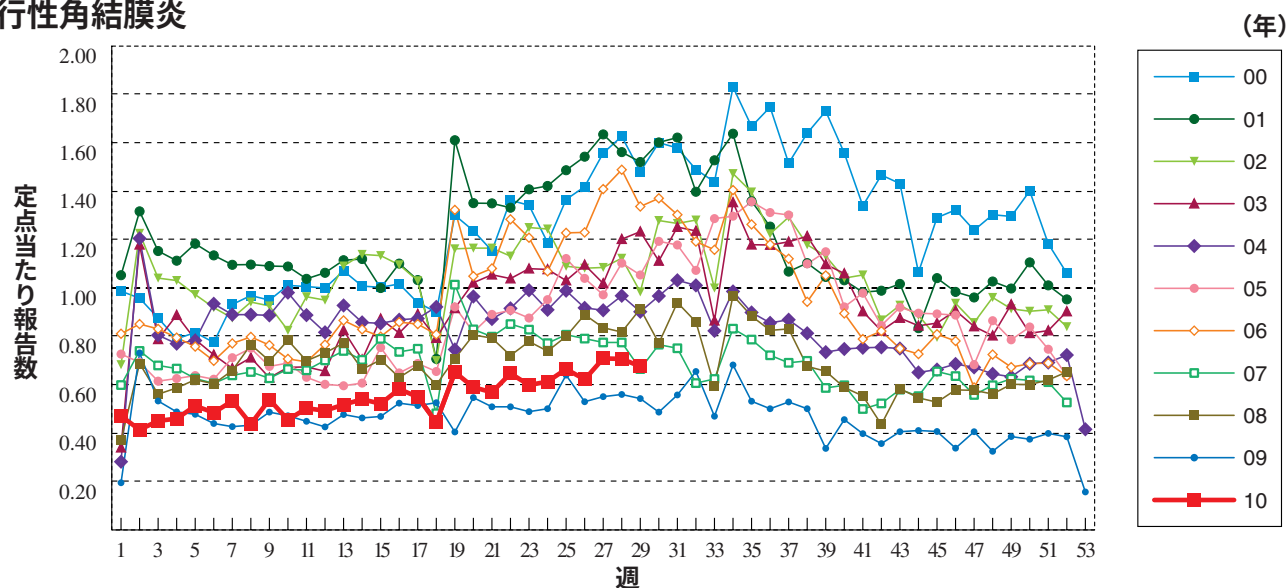
流行性耳下腺炎



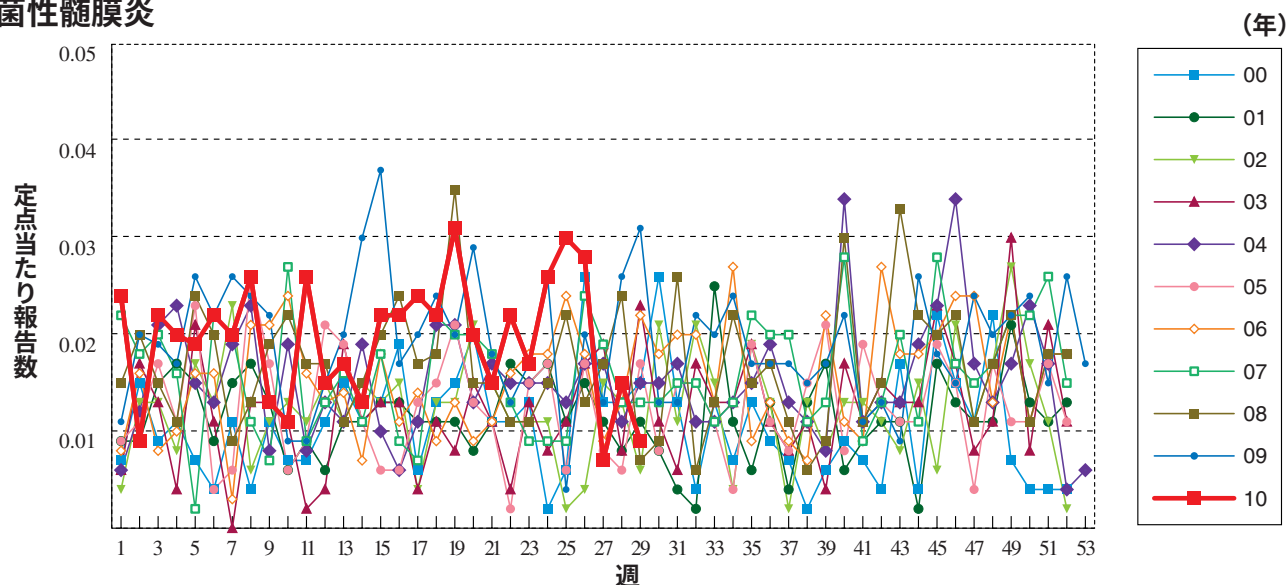
急性出血性結膜炎



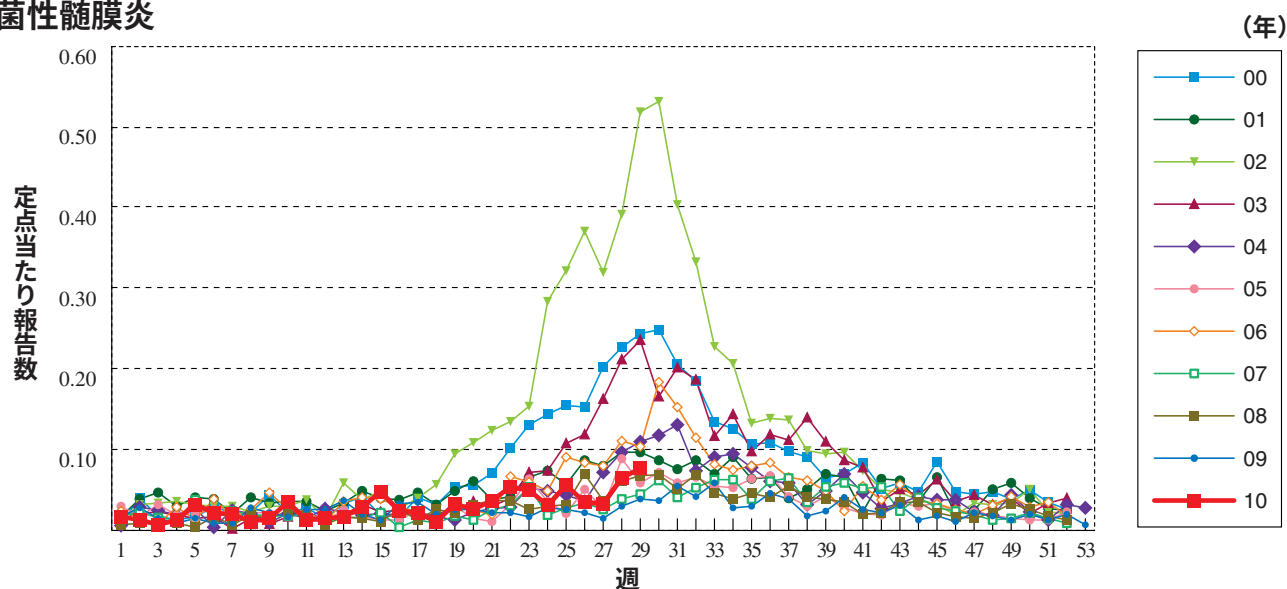
流行性角結膜炎



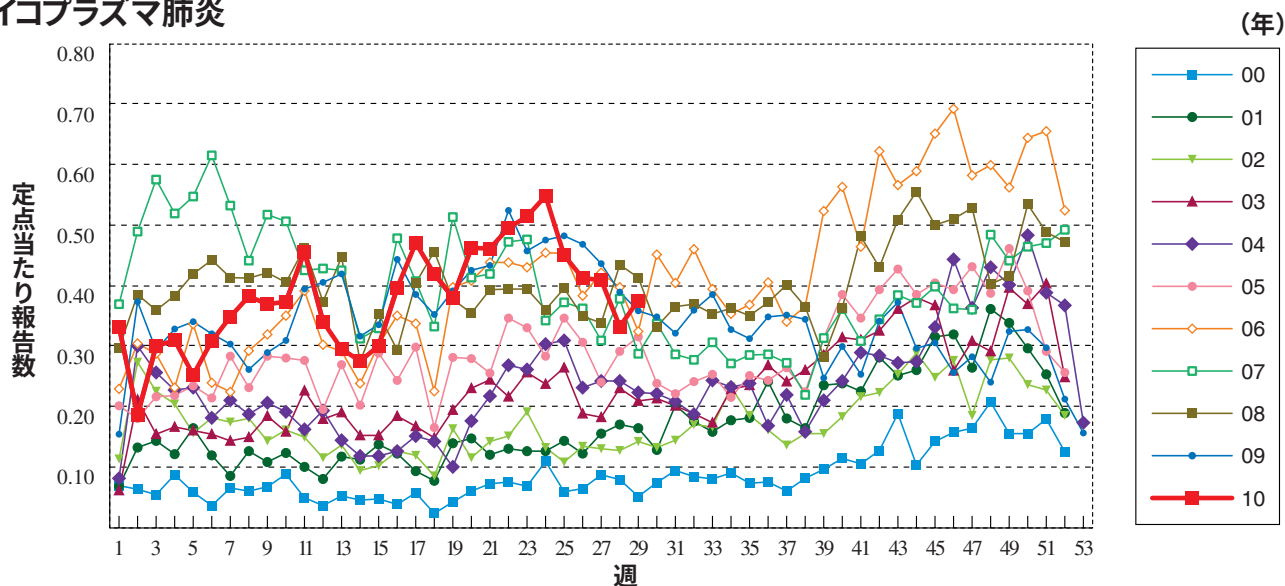
細菌性髄膜炎



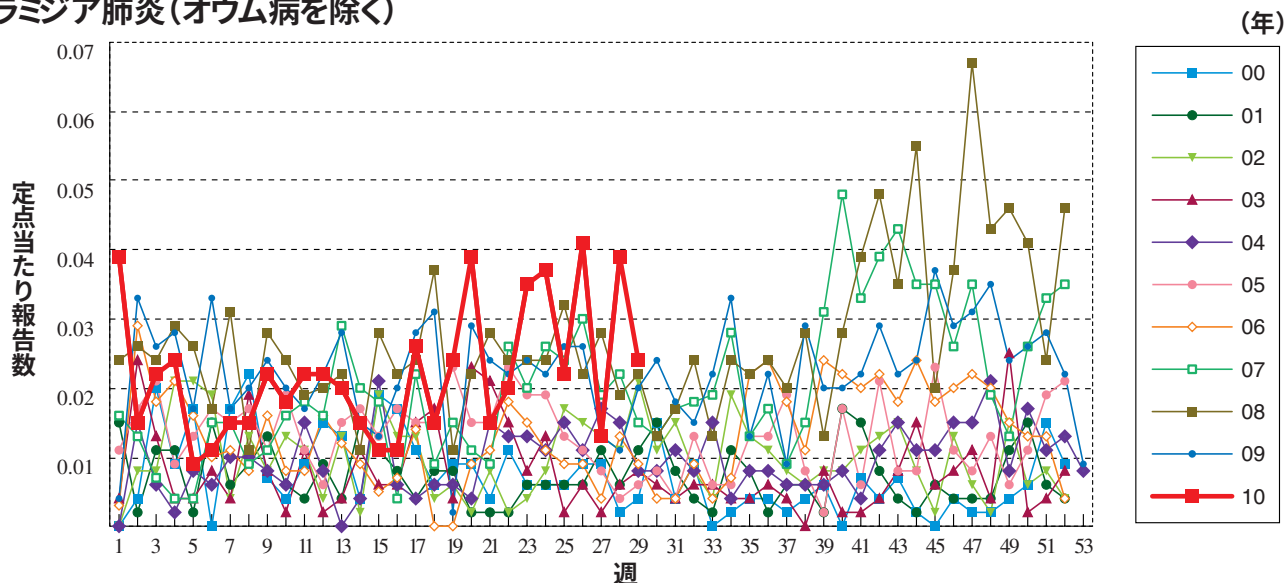
無菌性髄膜炎



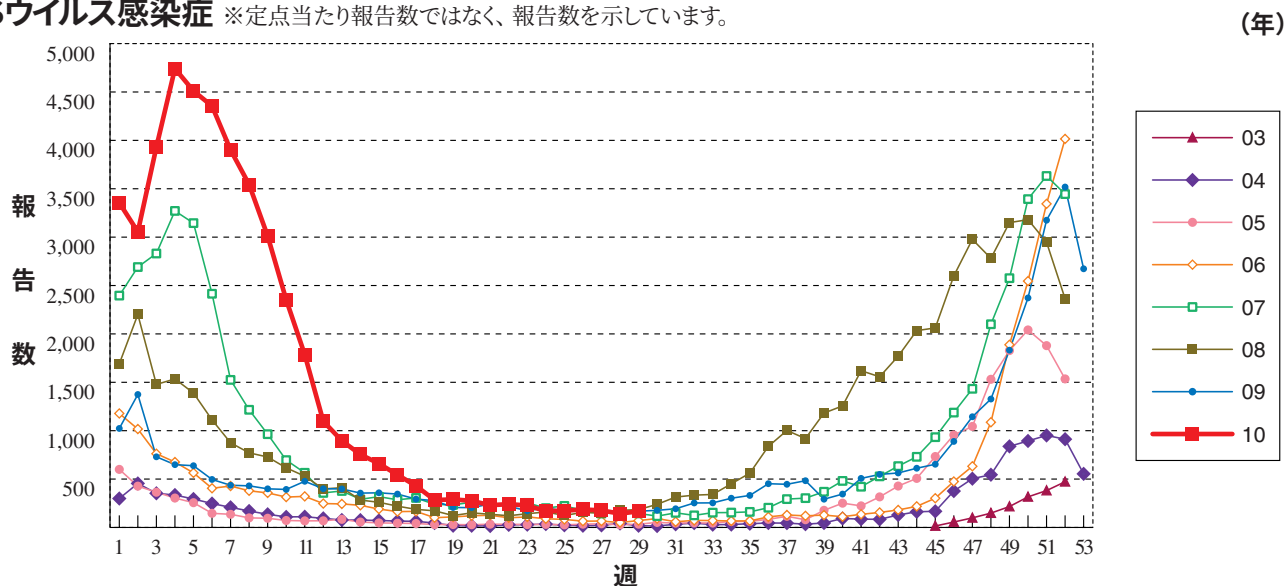
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





29週のデータ

注) 表中の報告数は7月28日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2010年29週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	245	13625	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	422	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	140	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	148	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	96	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	78	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	161	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	272	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	158	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	112	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	633	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	792	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	2224	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1058	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	195	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	79	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	120	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	82	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	119	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	246	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	360	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	1087	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	136	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	220	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	684	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	513	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	155	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	132	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	84	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	173	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	294	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	123	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	99	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	93	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	179	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	83	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	558	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	104	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	213	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	162	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	142	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	107	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	224	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	182	

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2010年29週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	4	2	96	97	1562	1	17	-	14	-	38
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	60	-	-	-	-	-	-	14
青森県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	22	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	7	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	16	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	9	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	22	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	4	53	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	34	-	2	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	39	11	132	-	4	-	3	-	-	5
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	10	6	51	1	3	-	2	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	26	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	5	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	1	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	116	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	243	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	13	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	26	-	-	-	2	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	90	-	2	-	3	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	8	77	-	2	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	20	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	29	-	-	-	1	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	40	-	1	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	124	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	8	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	16	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	43	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	25	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年29週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	4	273	-	5	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年29週

	狂 犬 病		コクシジ オイデス症		サル 痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭 疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	4	73	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	2	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	1	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	21	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年29週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年29週

	ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	34	-	-	-	5	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2010年29週

	類 鼻 疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅 斑 熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	27	352	-	5	-	-	4	447	1	111	2	138	-	9	1	87
北海道	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	3	-	6
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	2
福島県	-	-	1	5	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	2	9	-	-	-	-	-	7	-	2	-	4	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-
群馬県	-	-	2	11	-	-	-	-	-	6	-	2	-	2	-	-	-	1
埼玉県	-	-	2	17	-	-	-	-	1	21	-	2	-	6	-	-	-	2
千葉県	-	-	3	12	-	-	-	-	-	27	-	-	1	19	-	-	-	2
東京都	-	1	2	22	-	2	-	-	1	90	-	21	-	11	-	2	-	9
神奈川県	-	1	-	16	-	-	-	-	-	49	-	6	-	5	-	-	-	4
新潟県	-	-	1	16	-	1	-	-	-	6	-	-	1	11	-	-	-	1
富山県	-	-	2	14	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	1
石川県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	11	-	1	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	6
静岡県	-	-	2	10	-	-	-	-	-	9	-	2	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	29	1	8	-	5	-	-	-	5
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2	-	1	-	1	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	10	-	-	-	-	-	16	-	2	-	8	-	-	-	1
大阪府	-	-	3	27	-	1	-	-	-	44	-	11	-	13	-	-	-	6
兵庫県	-	-	1	17	-	-	-	-	1	18	-	11	-	6	-	-	1	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	6	-	5	-	1	-	-	-	1
広島県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	9	-	3	-	5	-	-	-	3
山口県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	1	15	-	-	-	-	-	24	-	3	-	3	-	-	-	1
佐賀県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	7	-	5	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	2	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年29週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	73	14	809	1	47	-	5	-	-	6	332	1	54	-	-	2	61
北海道	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	4
青森県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山形県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	10	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	1	1
埼玉県	-	6	-	19	-	2	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	1
千葉県	-	4	-	30	-	1	-	-	-	-	1	22	-	5	-	-	-	-
東京都	-	12	8	260	1	8	-	-	-	-	1	89	-	2	-	-	1	10
神奈川県	-	7	-	33	-	8	-	1	-	-	-	10	-	2	-	-	-	12
新潟県	-	2	-	4	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2
静岡県	-	3	-	16	-	-	-	-	-	-	1	16	-	1	-	-	-	2
愛知県	-	6	1	75	-	1	-	1	-	-	1	37	-	2	-	-	-	1
三重県	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	1	17	-	1	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	6	1	132	-	3	-	-	-	-	-	28	-	3	-	-	-	4
兵庫県	-	2	1	22	-	2	-	1	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	9	-	3	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	3
広島県	-	1	-	21	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2
徳島県	-	2	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	1	30	-	2	-	-	-	-	-	17	1	2	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3
大分県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	9	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2010年29週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	58	5	317
北海道	-	-	-	3
青森県	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2
福島県	-	-	-	1
茨城県	-	2	-	5
栃木県	-	-	-	5
群馬県	-	2	1	4
埼玉県	-	2	-	18
千葉県	-	6	1	32
東京都	-	10	-	53
神奈川県	-	3	2	63
新潟県	-	1	-	2
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	3
長野県	-	-	-	4
岐阜県	-	1	-	4
静岡県	-	-	-	8
愛知県	-	3	-	13
三重県	-	1	-	2
滋賀県	-	5	-	1
京都府	-	-	-	10
大阪府	-	6	-	20
兵庫県	-	3	-	10
奈良県	-	-	-	2
和歌山県	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	2
広島県	-	3	-	6
山口県	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	2	1	17
佐賀県	-	-	-	2
長崎県	-	3	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1
鹿児島県	-	2	-	2
沖縄県	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2010年29週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	135	0.03	871	0.29	2269	0.75	8330	2.75	3134	1.03	10706	3.53	1286	0.42	1832	0.60	145	0.05
北海道	2	0.01	32	0.22	194	1.36	193	1.35	155	1.08	292	2.04	15	0.10	56	0.39	1	0.01
青森県	1	0.02	20	0.48	16	0.38	43	1.02	20	0.48	38	0.90	39	0.93	17	0.40	-	-
岩手県	1	0.02	4	0.10	20	0.50	50	1.25	35	0.88	60	1.50	-	-	23	0.58	2	0.05
宮城県	4	0.04	10	0.17	58	1.00	152	2.62	57	0.98	340	5.86	45	0.78	41	0.71	-	-
秋田県	-	-	10	0.29	19	0.54	76	2.17	12	0.34	58	1.66	28	0.80	12	0.34	-	-
山形県	-	-	6	0.21	41	1.41	72	2.48	36	1.24	162	5.59	20	0.69	32	1.10	-	-
福島県	1	0.01	18	0.38	21	0.44	116	2.42	42	0.88	186	3.88	15	0.31	29	0.60	-	-
茨城県	2	0.02	16	0.21	37	0.49	118	1.57	54	0.72	71	0.95	15	0.20	28	0.37	3	0.04
栃木県	3	0.04	5	0.10	10	0.21	55	1.15	45	0.94	145	3.02	8	0.17	29	0.60	6	0.13
群馬県	-	-	7	0.11	22	0.36	212	3.48	62	1.02	450	7.38	7	0.11	38	0.62	2	0.03
埼玉県	2	0.01	44	0.28	176	1.12	442	2.82	173	1.10	499	3.18	127	0.81	91	0.58	3	0.02
千葉県	5	0.02	49	0.38	115	0.88	331	2.55	137	1.05	342	2.63	134	1.03	75	0.58	20	0.15
東京都	7	0.02	44	0.30	119	0.80	412	2.78	112	0.76	560	3.78	65	0.44	86	0.58	12	0.08
神奈川県	7	0.02	53	0.26	129	0.64	439	2.16	234	1.15	640	3.15	129	0.64	147	0.72	26	0.13
新潟県	-	-	16	0.26	51	0.84	89	1.46	67	1.10	638	10.46	31	0.51	40	0.66	5	0.08
富山県	-	-	20	0.71	16	0.57	113	4.04	33	1.18	112	4.00	7	0.25	9	0.32	-	-
石川県	-	-	10	0.34	55	1.90	66	2.28	13	0.45	180	6.21	6	0.21	21	0.72	1	0.03
福井県	2	0.06	5	0.23	48	2.18	98	4.45	34	1.55	196	8.91	11	0.50	16	0.73	-	-
山梨県	-	-	9	0.38	10	0.42	46	1.92	12	0.50	20	0.83	8	0.33	7	0.29	1	0.04
長野県	-	-	39	0.71	44	0.80	197	3.58	78	1.42	153	2.78	18	0.33	20	0.36	3	0.05
岐阜県	4	0.05	25	0.47	12	0.23	74	1.40	43	0.81	82	1.55	3	0.06	17	0.32	-	-
静岡県	-	-	31	0.36	57	0.66	308	3.58	95	1.10	656	7.63	43	0.50	52	0.60	3	0.03
愛知県	2	0.01	20	0.11	82	0.45	477	2.64	212	1.17	487	2.69	37	0.20	138	0.76	4	0.02
三重県	7	0.10	3	0.07	20	0.44	193	4.29	45	1.00	129	2.87	45	1.00	32	0.71	1	0.02
滋賀県	-	-	8	0.25	3	0.09	77	2.41	48	1.50	183	5.72	21	0.66	13	0.41	-	-
京都府	-	-	6	0.08	43	0.57	203	2.71	79	1.05	220	2.93	18	0.24	34	0.45	3	0.04
大阪府	3	0.01	70	0.36	175	0.89	631	3.22	214	1.09	792	4.04	60	0.31	128	0.65	9	0.05
兵庫県	-	-	18	0.14	86	0.67	390	3.02	175	1.36	603	4.67	40	0.31	65	0.50	8	0.06
奈良県	-	-	9	0.26	18	0.51	64	1.83	34	0.97	88	2.51	8	0.23	14	0.40	-	-
和歌山県	-	-	6	0.19	6	0.19	47	1.52	42	1.35	50	1.61	11	0.35	16	0.52	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	44	2.32	71	3.74	14	0.74	10	0.53	3	0.16	10	0.53	-	-
島根県	-	-	4	0.17	13	0.57	99	4.30	8	0.35	59	2.57	2	0.09	17	0.74	-	-
岡山県	3	0.04	7	0.13	51	0.94	248	4.59	49	0.91	39	0.72	2	0.04	22	0.41	2	0.04
広島県	1	0.01	59	0.83	41	0.58	186	2.62	79	1.11	124	1.75	7	0.10	39	0.55	2	0.03
山口県	1	0.01	12	0.24	71	1.45	140	2.86	42	0.86	276	5.63	5	0.10	29	0.59	1	0.02
徳島県	1	0.03	4	0.17	14	0.58	79	3.29	29	1.21	89	3.71	-	-	14	0.58	-	-
香川県	3	0.06	3	0.11	17	0.61	107	3.82	27	0.96	97	3.46	1	0.04	24	0.86	-	-
愛媛県	1	0.02	10	0.27	11	0.30	121	3.27	77	2.08	107	2.89	5	0.14	39	1.05	1	0.03
高知県	-	-	8	0.27	32	1.07	51	1.70	40	1.33	281	9.37	16	0.53	13	0.43	4	0.13
福岡県	6	0.03	46	0.38	105	0.88	503	4.19	140	1.17	498	4.15	93	0.78	98	0.82	11	0.09
佐賀県	3	0.08	11	0.48	7	0.30	36	1.57	23	1.00	32	1.39	7	0.30	17	0.74	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	15	0.34	64	1.45	20	0.45	57	1.30	51	1.16	20	0.45	3	0.07
熊本県	1	0.01	8	0.17	30	0.63	166	3.46	42	0.88	129	2.69	36	0.75	41	0.85	1	0.02
大分県	-	-	37	1.03	29	0.81	213	5.92	32	0.89	274	7.61	10	0.28	29	0.81	-	-
宮崎県	-	-	27	0.75	32	0.89	204	5.67	46	1.28	142	3.94	10	0.28	50	1.39	1	0.03
鹿児島県	1	0.01	17	0.31	30	0.55	176	3.20	46	0.84	54	0.98	22	0.40	32	0.58	-	-
沖縄県	61	1.05	2	0.06	24	0.71	82	2.41	22	0.65	6	0.18	2	0.06	12	0.35	6	0.18

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2010年29週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	15275	5.04	3950	1.30	3	0.00	460	0.68	4	0.01	35	0.08	172	0.38	11	0.02	167
北海道	633	4.43	220	1.54	-	-	18	0.62	-	-	-	-	10	0.43	-	-	32
青森県	151	3.60	22	0.52	-	-	9	0.82	-	-	-	-	6	1.00	-	-	3
岩手県	263	6.58	37	0.93	-	-	9	0.64	-	-	-	-	7	0.37	-	-	3
宮城県	613	10.57	45	0.78	-	-	5	0.42	-	-	-	-	16	1.33	-	-	-
秋田県	160	4.57	13	0.37	-	-	5	0.71	-	-	-	-	6	0.75	-	-	-
山形県	281	9.69	12	0.41	-	-	6	0.75	-	-	-	-	2	0.20	-	-	-
福島県	396	8.25	135	2.81	-	-	5	0.42	-	-	1	0.14	9	1.29	-	-	3
茨城県	265	3.53	91	1.21	-	-	25	1.47	-	-	-	-	2	0.15	-	-	1
栃木県	195	4.06	47	0.98	-	-	6	0.50	-	-	1	0.14	4	0.57	1	0.14	1
群馬県	343	5.62	62	1.02	-	-	12	0.80	-	-	-	-	10	1.25	-	-	-
埼玉県	1178	7.50	341	2.17	1	0.02	19	0.45	-	-	-	-	9	1.00	-	-	-
千葉県	715	5.50	175	1.35	1	0.03	19	0.58	1	0.11	3	0.33	1	0.11	2	0.22	1
東京都	954	6.45	138	0.93	-	-	18	0.46	-	-	-	-	3	0.13	-	-	5
神奈川県	1610	7.93	317	1.56	-	-	41	0.98	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5
新潟県	565	9.26	70	1.15	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.17	3	0.25	4
富山県	231	8.25	60	2.14	-	-	2	0.29	-	-	-	-	5	1.00	-	-	-
石川県	90	3.10	50	1.72	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20	-	-	1
福井県	82	3.73	21	0.95	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	111	4.63	10	0.42	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	407	7.40	66	1.20	-	-	3	0.27	-	-	-	-	1	0.09	-	-	1
岐阜県	291	5.49	10	0.19	-	-	2	0.18	-	-	2	0.40	3	0.60	-	-	-
静岡県	579	6.73	145	1.69	-	-	8	0.40	-	-	-	-	2	0.25	-	-	2
愛知県	1181	6.52	112	0.62	-	-	12	0.35	-	-	-	-	2	0.13	-	-	2
三重県	207	4.60	20	0.44	-	-	6	0.50	-	-	-	-	4	0.44	-	-	7
滋賀県	173	5.41	34	1.06	-	-	-	-	1	0.14	5	0.71	1	0.14	-	-	-
京都府	131	1.75	98	1.31	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	652	3.33	297	1.52	1	0.02	19	0.37	1	0.07	1	0.07	11	0.73	-	-	37
兵庫県	558	4.33	158	1.22	-	-	12	0.34	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-
奈良県	76	2.17	19	0.54	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	138	4.45	104	3.35	-	-	1	0.25	-	-	2	0.18	-	-	-	-	4
鳥取県	30	1.58	4	0.21	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	50	2.17	34	1.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	195	3.61	64	1.19	-	-	14	1.17	-	-	1	0.20	5	1.00	1	0.20	-
広島県	216	3.04	115	1.62	-	-	19	1.00	-	-	4	0.19	6	0.29	-	-	10
山口県	163	3.33	127	2.59	-	-	2	0.22	-	-	1	0.11	5	0.56	-	-	3
徳島県	114	4.75	26	1.08	-	-	-	-	1	0.20	1	0.20	2	0.40	-	-	-
香川県	109	3.89	57	2.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	178	4.81	27	0.73	-	-	11	1.38	-	-	1	0.17	2	0.33	-	-	-
高知県	55	1.83	7	0.23	-	-	4	1.33	-	-	3	0.43	-	-	1	0.14	-
福岡県	232	1.93	208	1.73	-	-	13	0.50	-	-	-	-	2	0.15	1	0.08	5
佐賀県	81	3.52	21	0.91	-	-	2	0.50	-	-	-	-	10	1.67	2	0.33	1
長崎県	85	1.93	45	1.02	-	-	5	0.63	-	-	1	0.08	2	0.17	-	-	-
熊本県	136	2.83	67	1.40	-	-	14	1.56	-	-	3	0.20	3	0.20	-	-	1
大分県	152	4.22	53	1.47	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.18	-	-	-
宮崎県	91	2.53	71	1.97	-	-	18	3.00	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-
鹿児島県	150	2.73	40	0.73	-	-	8	1.14	-	-	1	0.08	-	-	-	-	17
沖縄県	9	0.26	55	1.62	-	-	69	6.90	-	-	1	0.14	16	2.29	-	-	16

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2010年29週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2010年29週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第12巻 第29号 2010年8月6日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。